SONY

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

索引

Cyber-shot

サイバーショット ハンドブック

DSC-TX7/TX7C

4-165-176-**02**(1)

JP

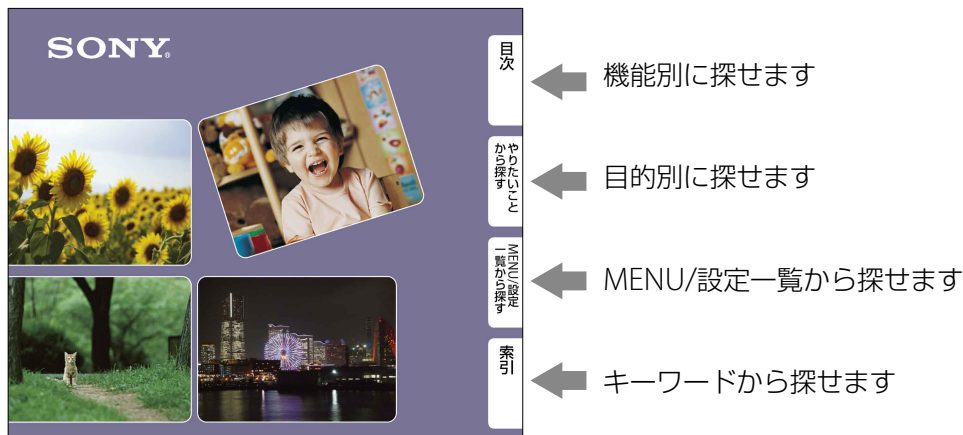
ハンドブックの便利な使いかた

右側にあるボタンをクリックすると、該当ページに移動します。
見たい機能を探したいときに便利です。

機能別に探せます

目的別に探せます

MENU/設定一覧から探せます

キーワードから探せます

本文中に記載されたページ数部分をクリックしても、各ページに移動します。

本文中のマーク/記載内容について

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 MENU → (設定) → (撮影設定) → [赤目軽減] → 好みのモード

✓	オート	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	入	常に赤目軽減発光する。
	切	赤目軽減発光しない。

ご注意
- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。
- 以下の場合は、[赤目軽減]は[切]になります。
  - 人物ブレ軽減撮影時
  - 手持ち夜景撮影時
  - シーンセレクションが(高感度)のとき
  - スマイルシャッター中

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

カメラ　目　網膜

その他の軽減方法
- シーンセレクションで(高感度)に設定して撮影する。([フラッシュ]は[発光禁止]になります。)
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

ハンドブックでは、操作の手順を→で表現しています。この順に従って、画面をタッチしてください。マークはお買い上げ時の状態のもので載せています。

お買い上げ時の設定は✓で表しています。

カメラを正しく動作させるための注意や制限事項を記載しています。

知っておくと便利な情報を記載しています。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

操作前のご注意

表示言語について

本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機で使用できるメモリーカード(別売)についてのご注意

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティックPROデュオ"、"メモリースティックPRO-HGデュオ"、"メモリースティック デュオ"、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。マルチメディアカードは使用できません。
本書では、"メモリースティックPROデュオ"、"メモリースティックPRO-HGデュオ"、"メモリースティック デュオ"を「"メモリースティック デュオ"」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「SDカード」と表現しています。

- 本機で動作確認されている"メモリースティック デュオ"は32 GB、SDカードは64 GBまでです。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO Duo (Mark2)("メモリースティックPROデュオ"(Mark2))
  - MEMORY STICK PRO-HG Duo ("メモリースティックPRO-HGデュオ")
  - SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード (Class 4以上)
- "メモリースティック デュオ"について詳しくは、160ページをご覧ください。

"メモリースティック デュオ"をスタンダードサイズの"メモリースティック"スロットで使用する場合

"メモリースティック デュオ" アダプター(別売)に入れると使用可能です。

"メモリースティック デュオ" アダプター

本機搭載の機能について

- 本書は TransferJet付きまたは無し機能、1080 60i対応機または1080 50i対応機、それぞれの機能について記載しています。
  TransferJet機能、1080 60i対応機または1080 50i対応機の確認については、お使いのカメラの本体底面に以下の記載がありますのでご確認ください。
  TransferJet付き: (TransferJet)
  1080 60i対応機: 60i
  1080 50i対応機: 50i
- DSC-TX7CはTransferJet対応していません。

バッテリーについてのご注意

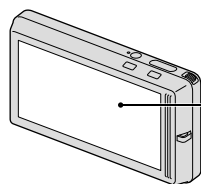
- 初めてお使いになるときは、バッテリー(付属)を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長期間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、162ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

次のページにつづく↓

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面に水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置すると液晶画面の表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機のレンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

他機での動画再生に際してのご注意

本機は、AVCHD方式の記録に MPEG-4 AVC/H.264 のHigh Profileを採用しております。
このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
– High Profile に対応していない他のAVCHD規格対応機器
– AVCHD規格非対応の機器
また、本機は、MP4方式の記録に MPEG-4 AVC/H.264 のMain Profileを採用しております。
このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264 の対応機器以外では再生できません。

カスタマー登録について

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後はカスタマー登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話：**0466-38-1410**
受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00
　　　　　土日祝　9:00 ～ 17:00

カスタマー登録およびそれに関する電話によるお問い合わせの対応は、国内のみです。

目次

ご使用の前に

撮る

見る

MENU（撮影）を使う

MENU(再生)を使う

設定を変更する

テレビで見る

パソコンを使う

プリントする

困ったときは

その他

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

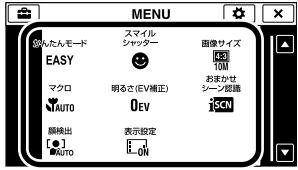
MENU一覧（撮影）

撮影中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

3 メニュー項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表では、○は設定変更可能、－は設定変更不可能、SCN の下のアイコンは、設定できるモードを表しています。撮影モードによっては、設定が固定または制限される場合があります。詳細は、各項目のページにてご確認ください。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

静止画/動画モードボタン	静止画							動画	
撮影モード / メニュー項目	i	P	i			+	SCN	AUTO	
かんたんモード	○	○	○	○	○	○	○	－	－
動画ボタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画撮影シーン	－	－	－	－	－	－	－	○	○
スマイルシャッター	○	○	－	－	－	－	ISO	－	－
フラッシュ	○	○	－	－	－	○		－	－
セルフタイマー	○	○	－	○	○	○	○	○	○
撮影方向	－	－	○	－	－	－	－	－	－
画像サイズ/画質	○	○	○	○	○	○	○	○	○
連写	○	○	－	－	－	－		－	－
マクロ	○	○	－	－	－	○		－	－
明るさ（EV補正）	○	○	○	○	○	－	○	○	○
ISO	－	○	－	－	－	－		－	－
色合い（ホワイトバランス）	－	○	○	○	○	○	ISO	○	－
水中ホワイトバランス	－	－	－	－	－	－		－	○
フォーカス	－	○	○	－	－	○	－	－	－
測光モード	－	○	○	○	○	－	－	○	○

次のページにつづく↓

静止画/動画モードボタン	(静止画)							(動画)	
撮影モード / メニュー項目	iAUTO	P	iパノラマ	手ブレ	夜景/手持ち	背景ぼかし+	SCN	AUTO	水中
おまかせシーン認識	○	–	–	–	–	–	–	–	–
顔検出	○	○	–	○	○	○	(シーンアイコン)	–	–
目つぶり軽減	–	–	–	–	–	–	(シーンアイコン)	–	–
表示設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ご注意

- ［画質］は［動画記録方式］が［AVCHD］のときのみ表示されます。
- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
- MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、各モードによって表示される項目が異なります。

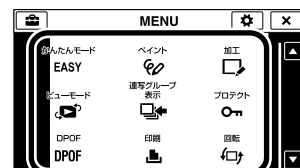
MENU一覧（再生）

再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 **MENU**をタッチしてメニュー画面を表示する

MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

3 メニュー項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表では、○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

ビューモード／メニュー項目	メモリーカード				内蔵メモリー
	日付ビュー	フォルダビュー（静止画）	フォルダビュー（MP4）	AVCHDビュー	フォルダビュー
EASY（かんたんモード）	○	○	○	○	○
（カレンダー表示）	○	－	－	－	－
（一覧表示）	○	○	○	○	○
（スライドショー）	○	○	○	○	○
（削除）	○	○	○	○	○
（TransferJet送信）	○	○	－	－	－
（ペイント）	○	○	－	－	○
（加工）	○	○	－	－	○
（ビューモード）	○	○	○	○	－
（連写グループ表示）	○	－	－	－	－
（プロテクト）	○	○	○	○	○
DPOF	○	○	－	－	－
（印刷）	○	○	－	－	○
（回転）	○	○	－	－	○
（音量設定）	○	－	○	○	○
（表示設定）	○	○	○	○	○
（画像情報）	○	○	○	○	○
（一覧表示設定）	○	○	○	○	○
（再生フォルダ選択）	－	○	○	－	－

ご注意

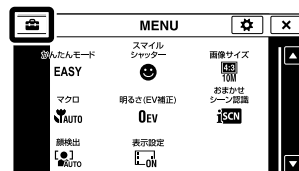
- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
- MENU の下に表示される4つのメニュー項目は、各モードによって表示される項目が異なります。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

設定一覧

(設定)画面を表示して、本機の設定を変更できます。

1 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

2 (設定) → 希望のカテゴリー → 希望の項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表の「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。

カテゴリー	項目
撮影設定	動画記録方式
	AFイルミネーター
	グリッドライン
	デジタルズーム
	縦横判別
	シーン認識ガイド
	赤目軽減
	目つぶり通知
本体設定	操作音
	画面の明るさ
	表示言語*
	デモモード
	設定リセット
	HDMI解像度
	HDMI機器制御
	コンポーネント出力
	ハウジング
	USB接続
	LUN設定
	BGMダウンロード
	BGMフォーマット
	パワーセーブ
	TransferJet
	キャリブレーション
メモリーカードツール	フォーマット
	記録フォルダ作成
	記録フォルダ変更
	記録フォルダ削除
	コピー
	ファイル番号

次のページにつづく↓

カテゴリー	項目
内蔵メモリーツール	フォーマット
	ファイル番号
時計設定	エリア設定
	日時設定

* 本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

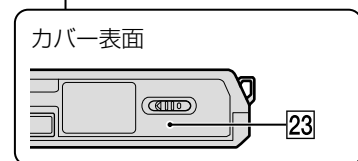
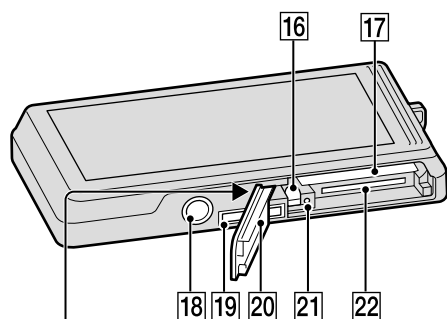
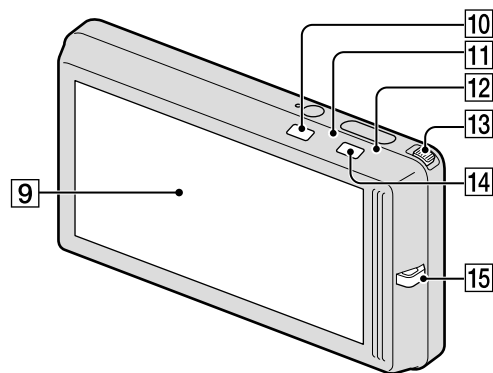
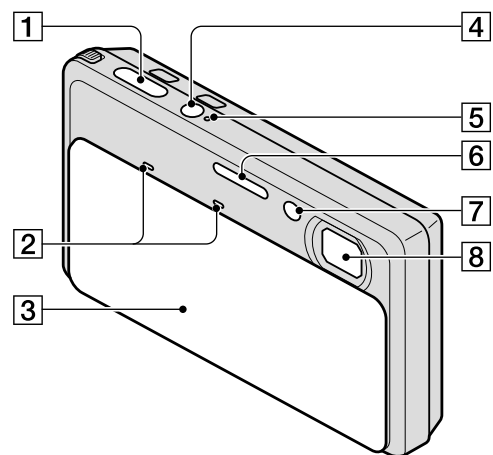
ご注意

- [撮影設定]は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。
- [メモリーカードツール]はメモリーカード挿入時のみ表示され、[内蔵メモリーツール]はメモリーカード非挿入時のみ表示されます。

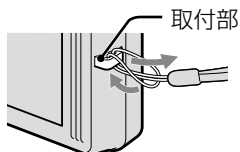
各部の名前

カメラ

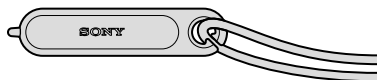
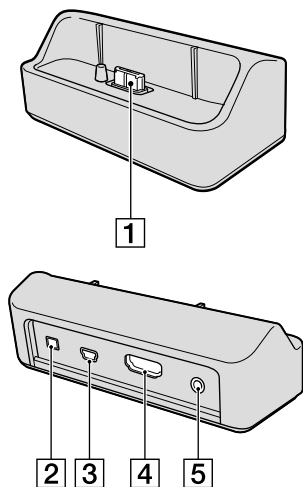
カバー表面

23

1 シャッターボタン
2 マイク
3 レンズカバー
4 ON/OFF（電源）ボタン
5 ON/OFF（電源）ランプ
6 フラッシュ
7 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AFイルミネーター
8 レンズ
9 液晶画面/タッチパネル
10 ▶（再生）ボタン（38）
11 （静止画）モードランプ
12 （動画）モードランプ
13 ズーム（W/T）レバー（37、39）
14 （静止画）/（動画）モードボタン
15 リストストラップ取り付け部*
16 取りはずしつまみ
17 バッテリー挿入口
18 三脚用ネジ穴
19 マルチ端子
20 バッテリー/メモリーカードカバー
21 アクセスランプ
22 メモリーカード挿入口
23 （TransferJet™）マーク（82、117）

* リストストラップを使う

本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。落下防止のため、手をとおしてご使用ください。

* ペイントペンを使う

タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

次のページにつづく↓

マルチ出力スタンド

以下の場合にカメラを取り付けて使用します。
– パソコンとのUSB接続
– テレビなどとのAVまたはHDMI接続
– プリンターとのPictBridge接続

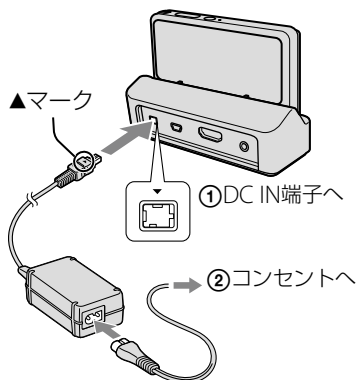
1 カメラ接続端子

2 DC IN端子

3 USB端子

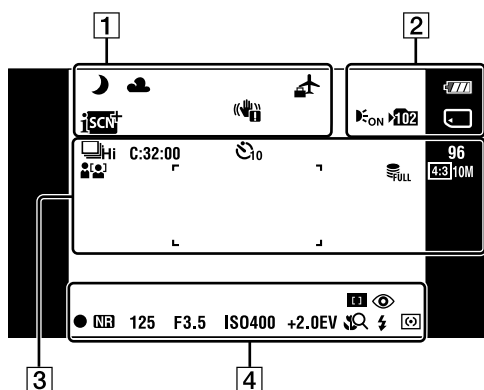
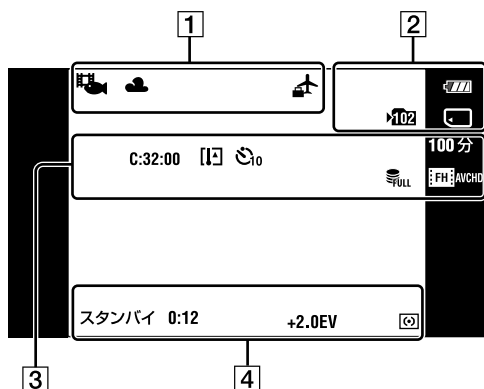
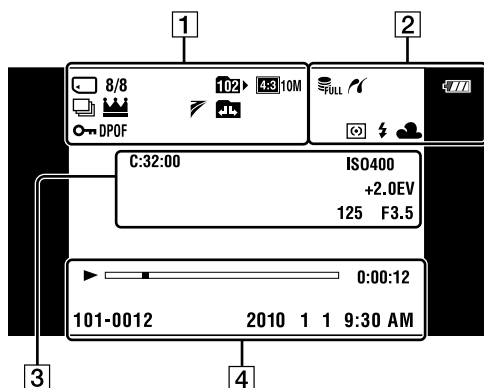
4 HDMI端子

5 A/V OUT（STEREO）端子

ACアダプター AC-LS5A（別売）を使う

- 本機をACアダプター AC-LS5A（別売）に接続してもバッテリーを充電できません。バッテリーの充電には、バッテリーチャージャーをお使いください。

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。撮影したモードによって、表示されるアイコンの位置が異なる場合があります。

静止画撮影時

動画撮影時

再生時

1

表示	意味
	シーン認識マーク
	色合い（ホワイトバランス）
	訪問先
	おまかせシーン認識
	手ブレ警告
	動画撮影シーン
×2.0	再生ズーム
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
8/8	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数
102	記録フォルダ
102	再生フォルダ
4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 7M 16:9 2M STD WIDE FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/画質
	連写画像
	連写代表画像
	TransferJet設定
	フォルダ移動
	プロテクト
DPOF	プリント予約マーク

次のページにつづく↓

2

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
ON	AFイルミネーター
102	記録フォルダ
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
W T ×1.3 sQ pQ	ズーム
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
	PictBridge接続
	測光モード
	フラッシュ
AWB WB 1 2 3 WB 1 WB 2	色合い（ホワイトバランス）

3

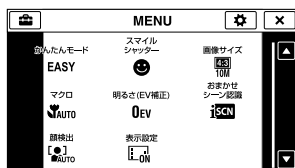
表示	意味
Hi Mid Lo	連写
C:32:00	自己診断表示
	温度上昇警告
10 2	セルフタイマー
96	記録可能枚数
100分	記録可能時間
	顔検出
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 7M 16:9 2M STD WIDE FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/画質
	AF測距枠
+	スポット測光照準
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値

4

表示	意味
	フォーカス
	赤目軽減
●	AE/AFロック
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
	拡大鏡モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
	測光モード
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
	再生
	再生バー
	方位
	GPS情報
35° 37' 32" N 139° 44' 31" E	緯度・経度表示
0:00:12	カウンター
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2010 1 1 9:30 AM	画像の記録日時

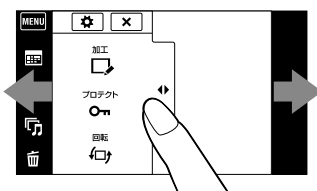
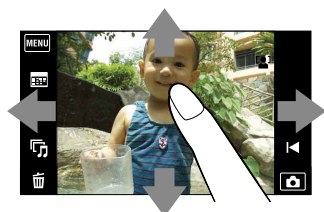
目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

タッチパネルを使いこなす

本機は液晶画面に表示されるボタンをタッチしたり、画面をなぞることにより操作や設定をします。

▲/▼/◀/▶	隠れている項目を表示させて、設定したい項目を表示する。
×	前の画面に戻る。
?	撮影メニュー、撮影モード、シーンセレクション表示時に設定値の機能説明をする。 ? → 説明を見たい項目の順にタッチする。

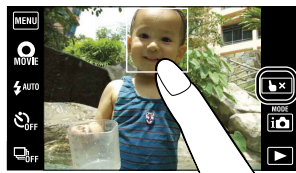
ご注意

- タッチパネルを操作するときは、指または付属のペイントペンで軽く押してください。強く押したり、付属のペイントペン以外の先の尖ったもので押すと故障の原因になります。
- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。

画面をなぞって操作する

メニュー画面の表示/非表示

	できること	操作方法
撮影/再生時	メニュー画面を表示	左側から右になぞる
	メニュー画面を非表示	右側から左になぞる
	操作ボタンを非表示	左側から左になぞる
	操作ボタンを表示	左側から右になぞる
再生時	画像を送る/戻す	右/左になぞる
	画像を連続で送る/戻す	右/左になぞり、画面をタッチし続ける
	一覧表示画面を表示	上になぞる
	一覧表示時、ページを送る/戻す	下/上になぞる
	日付ビューで再生しているとき、カレンダー画面を表示	下になぞる

画面をタッチしてピントを合わせる

タッチパネル上の被写体をタッチすると枠が表示され、シャッターを半押ししたときに枠内にピントが合います。枠内に顔がある場合は、ピント以外に明るさ、色合いも自動で最適化されます。

ボタン/操作方法	できること
被写体をタッチ	ピントを合わせる。
×	ピント合わせを解除する。

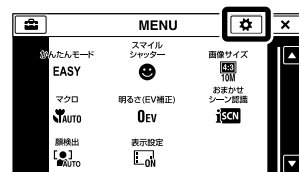
ご注意

- 以下の場合、この機能は使えません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – かんたんモード中
  – スマイルシャッター中
  – シーンセレクションが (風景)、(夜景)、(料理)、(打ち上げ花火)、(水中)のとき
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
  – デジタルズーム時

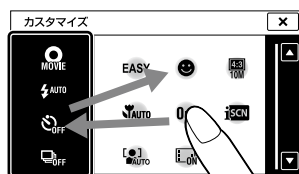
メニュー項目をカスタマイズする

撮影/再生モード時、MENU の下に表示される4つのメニュー項目をお好みのボタンに変更(カスタマイズ)できます。よくご利用になるボタンを配置すると便利です。
撮影時は撮影モードごとに、再生時は内蔵メモリー、メモリーカードごとにカスタマイズでき、その設定が保存されます。

1 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

2 ⚙(カスタマイズ) → [OK]

3 変更したいメニューボタンをタッチしたまま、希望の位置へ移動する

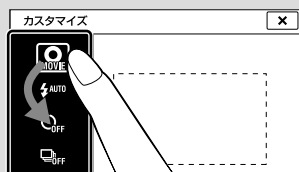
カスタマイズエリア内のメニューボタンと入れ替わる。

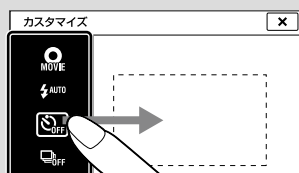
4 終了するには、✕をタッチする

カスタマイズエリア

ご注意

- かんたんモード中、この機能は使えません。

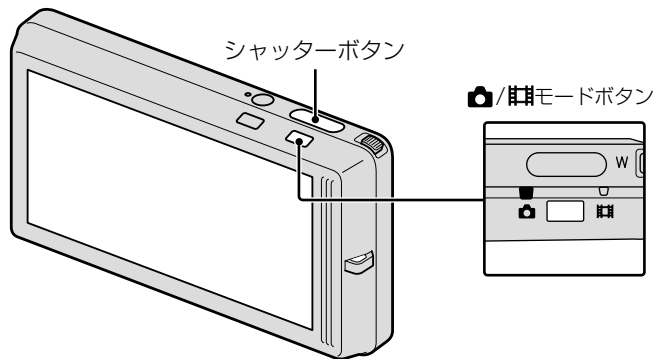
カスタマイズを使いこなす

メニューボタンを入れ換えるだけでなく、カスタマイズエリア内のメニュー項目を入れ換えたり、メニューボタンの数を減らすことができます。

カスタマイズエリア内のメニュー項目を入れ換える

カスタマイズエリア内のメニューボタンをタッチしたまま、変更したい位置へ移動する。

カスタマイズエリア内のボタンの数を減らす

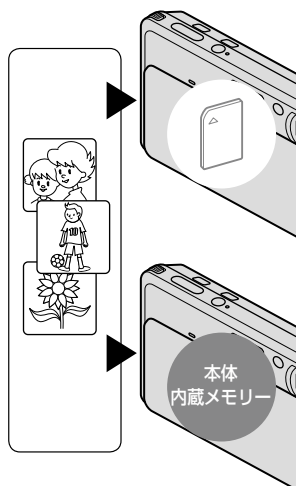
カスタマイズエリア内のメニューボタンをタッチしたまま、右のエリアに移動する。

静止画/動画モードボタンの使いかた

撮影したいモードに合わせて撮影モードを設定します。

1 /モードボタンを押して、(静止画)または(動画)に切り換える。

(静止画)	静止画を撮影できる。 i(撮影モード)で設定した静止画撮影モードに切り替わる(26ページ)。
(動画)	動画を撮影できる。 MENU → [動画撮影シーン]で設定した動画撮影シーンに切り替わる(45ページ)。

内蔵メモリーについて

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（約45 MB）が搭載されています。
本機にメモリーカードが入っていないときに、画像を内蔵メモリーに記録できます。

メモリーカードが挿入されているとき

[撮影画像]：メモリーカードに記録します。

[再生]：メモリーカード内の画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：メモリーカード内のデータに対して行います。

メモリーカードが挿入されていないとき

[撮影画像]：内蔵メモリーに記録します。

[再生]：内蔵メモリーの画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

パソコンのハードディスクにバックアップを取るには

本機にメモリーカードを入れない状態で、135ページの操作を行う。

メモリーカードにバックアップを取るには

充分な空き容量のあるメモリーカードを準備して、[コピー]（123ページ）の操作を行う。

ご注意

- メモリーカードに記録された画像データは、内蔵メモリーに取り込めません。
- 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンに取り込めますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーに書き出せません。

撮影モード

状況や目的に合わせた撮影モードを選べます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i📷(撮影モード) → 好みのモードの順にタッチする

i📷(おまかせオート撮影)	自動設定で撮影できる。
P(プログラムオート撮影)	露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定する。メニューで多彩な機能を設定できる。
i▭(スイングパノラマ)	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
🎞(動画撮影)	動画を撮影できる。
((👤))(人物ブレ軽減)	高感度で連写した画像を合成して、フラッシュを使わずに被写体ブレを抑えてきれいに撮影できる。
☽✋(手持ち夜景)	高感度で連写した画像を合成して、三脚を使わなくても手ブレを軽減してきれいな夜景の撮影ができる。
☀+(逆光補正HDR)	露出の異なる2枚の画像を重ね合わせて、階調豊かに撮影できる。
SCN(シーンセレクション)	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影できる。

おまかせオート撮影

自動設定で撮影します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i（撮影モード）→ i（おまかせオート撮影）
3 シャッターボタンを深押しする

ご注意

- ［フラッシュ］は［オート］または［発光禁止］になります。

おまかせシーン認識について

おまかせオート撮影では、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識マークとガイド

（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークとガイドが表示されます。
詳しくは68ページをご覧ください。

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は、レンズ先端からW側約8 cm（おまかせオート撮影時、かんたんモード中は約1 cm）、T側約50 cmです。それよりも近くで撮影するときは、拡大鏡撮影してください。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えたり、フォーカス設定を変える（65ページ）などしてください。
- 以下のとき、ピントが合いにくい場合があります。
  - 被写体が遠くて暗い
  - 被写体と背景のコントラストが弱い
  - ガラス越しの被写体
  - 高速で移動する被写体
  - 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  - 点滅する被写体
  - 逆光になっている被写体

プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i📷（撮影モード）→ P（プログラムオート撮影）
3 シャッターボタンを深押しする

スイングパノラマ(顔・動き検出対応)

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。また、顔や動いている被写体を自動で検出します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 i📷(撮影モード)→ i▭(スイングパノラマ)

3 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを深押しする

撮影されない部分

4 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす

ガイド

ご注意

- 一定時間内にパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを早く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定ではなくなります。
- パノラマ撮影される画角全体と、AE/AFロックした時の画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。このようなときは、AE/AFロックする場所を変えて撮影してください。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  – カメラを動かす速度が速すぎる、または遅すぎる場合
  – ブレ過ぎた場合

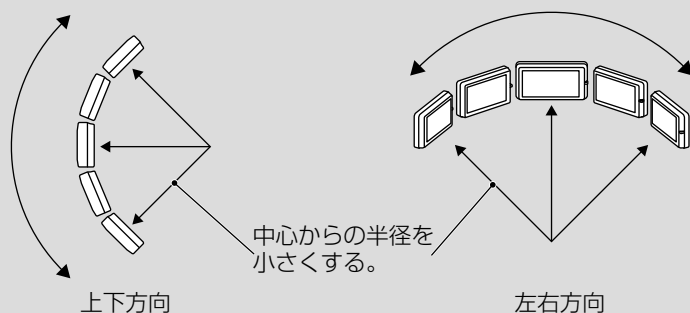
次のページにつづく↓

撮影方向、画像サイズを変更する

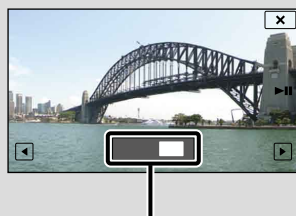
撮影方向： （撮影方向）→［右］または［左］、［上］、［下］

画像サイズ： （画像サイズ）→［標準］または［ワイド］

スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で小さな円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

- シャッターボタンを半押しして、ピントや露出、ホワイトバランスをロックしてから、カメラを動かしてください。
- 風景の変化の多い部分が画面の中央になるように構図を調整して撮影してください。

パノラマ画像をスクロール再生する

パノラマ画像表示中に▶をタッチすると、スクロール再生できます。
再生中、画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

全体の中で現在表示されている部分

ボタン/操作方法	できること
▶II もしくは画面をタッチ	スクロール再生/一時停止
▲/▼/◀/▶ もしくは上下左右になぞる	スクロールの移動

- パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます（133ページ）。
- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

動画撮影

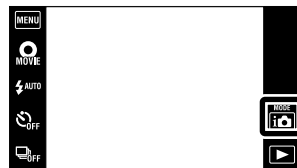
動画を撮影できます。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**

2 **i📷（撮影モード）→ AVCHD（動画撮影）**

3 **シャッターボタンを深押しする**

MOVIE をタッチしても撮影できる。

4 **終了するには、もう一度シャッターボタンを深押しする**

動画記録方式、画質または、画像サイズを変更する

動画記録方式： MENU →（設定）→（撮影設定）→［動画記録方式］→［AVCHD］または［MP4］

画質（AVCHD）： HQ（画質）→［AVC HD 17M FH］または［AVC HD 9M HQ］

画像サイズ（MP4）： 1080（画像サイズ）→［MP4 12M］、［MP4 6M］または［MP4 3M］

人物ブレ軽減

室内での人物撮影に適しています。フラッシュを使わずに被写体ブレを軽減した撮影ができます。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**

2 **i（撮影モード）→（人物ブレ軽減）**

3 **シャッターボタンを深押しする**

連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録される。

ご注意

- シャッター音が6回鳴りますが、記録される画像は1枚です。
- 以下の場合は、ノイズを軽減する効果が弱くなります。
  – 動きの大きな被写体
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- スマイルシャッターは使えません。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、ブロック状のノイズが発生する場合があります。この場合は、シーンセレクションの ISO（高感度）モードで撮影してください。

手持ち夜景

夜景を撮影すると手ブレにより画像がブレてしまいがちですが、三脚を使わなくてもノイズの少ないきれいな夜景を撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 i（撮影モード）→（手持ち夜景）

3 シャッターボタンを深押しする

連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録される。

ご注意

- シャッター音が6回鳴りますが、記録される画像は1枚です。
- 以下の場合は、ノイズを軽減する効果が弱くなります。
  – 動きの大きな被写体
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- スマイルシャッターは使えません。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、ブロック状のノイズが発生する場合があります。この場合は、シーンセレクションの ISO（高感度）モードで撮影してください。

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

索引

逆光補正HDR

露出の異なる2枚の画像を撮影し、明るい露出設定の画の暗い部分と、暗い露出設定の画の明るい部分を合成して1枚の階調豊かな画像を記録します。

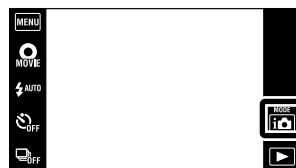
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i（撮影モード）→ +（逆光補正HDR）
3 シャッターボタンを深押しする

ご注意

- シャッター音が2回鳴りますが、記録される画像は1枚です。
- 以下の場合は、効果が得られないことがあります。
  - フラッシュ発光時
  - 動きの大きな被写体
  - ブレ過ぎた場合
  - 撮影場所が明るすぎる、または、暗すぎる場合
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- スマイルシャッターは使えません。

シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i📷（撮影モード）→ SCN（シーンセレクション）→ 好みのモード

ISO（高感度）	暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。
（ソフトスナップ）	人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。
（風景）	遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。
（夜景＆人物）	夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使う。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。
（夜景）	暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。
（料理）	マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。
（ペット）	ペットを最適な設定で撮影する。
（ビーチ）	海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに撮影する。
（スノー）	雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにする。

次のページにつづく↓

(打ち上げ花火)	打ち上げ花火をきれいに撮影する。
(水中)	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、水中をきれいに撮影する。
(高速シャッター)	屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。 • シャッタースピードが速くなるので、暗い場所で撮影すると画像が暗くなります。

ご注意

- (夜景&人物)、(夜景)、(打ち上げ花火)のときは、シャッタースピードが遅くなり画像がブレやすくなるため、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。

「フラッシュモード」、「セルフタイマー」の下のアイコンは、設定できるモードを表しています。モードによっては使えない機能があります。

	拡大鏡モード	フラッシュモード	顔検出/スマイルシャッター	セルフタイマー	連写	色合い(ホワイトバランス)	目つぶり軽減
ISO	－	⊘⚡	○	○	－	○*1	－
	－	○	○*2	○	○	－	○
	－	⚡ ⊘⚡	－	⏲10 ⏲2	○	－	－
	－	⚡SL	○	○	－	－	－
	－	⊘⚡	－	⏲10 ⏲2	－	－	－
	○	⚡ ⊘⚡	－	⏲10 ⏲2	－	○	－
	○	⚡ ⊘⚡	－	⏲10 ⏲2	－	○	－
	－	⚡ ⊘⚡	○	○	○	－	－
	－	⚡ ⊘⚡	○	○	○	－	－
	－	⊘⚡	－	⏲10 ⏲2	－	－	－
	○	⚡ ⊘⚡	－	⏲10 ⏲2	○	○*3	－
	－	⚡ ⊘⚡	○	○	○	－	－

*1 [色合い(ホワイトバランス)]の[フラッシュ]は選べません。

*2 [顔検出]の[タッチ時]は選べません。

*3 [水中ホワイトバランス]になります。

ズーム

画像を拡大して撮影します。光学4倍までズームします。

T側

W側

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 ズーム(W/T)レバーを動かす

ズーム(W/T)レバーをT側に動かすとズームし、W側に動かすと戻る。

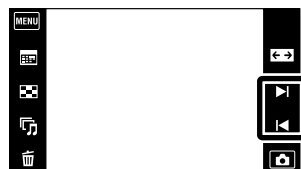
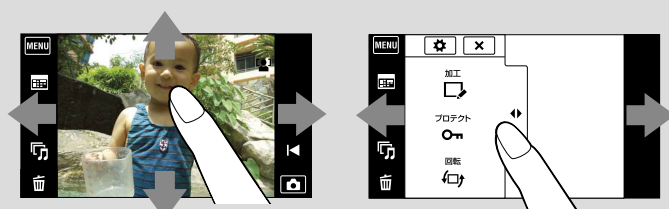
- 4倍以上のズームを行う場合は、99ページをご覧ください。

ご注意

- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- スイングパノラマ撮影中は、ズームはW側に固定されます。

静止画再生

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 ▶I/I◀で画像を選ぶ

なぞり操作を使いこなす

メニュー画面の表示/非表示

できること	操作方法
メニュー画面を表示	左側から右になぞる
メニュー画面を非表示	右側から左になぞる
操作ボタンを非表示	左側から左になぞる
操作ボタンを表示	左側から右になぞる
再生画像を送る/戻す	右/左になぞる
再生画像を連続で送る/戻す	右/左になぞり、画面をタッチし続ける
再生時、一覧表示画面を表示	上になぞる
一覧表示時、ページを送る/戻す	下/上になぞる
日付ビューで再生しているとき、カレンダー画面を表示	下になぞる

他機で撮影した画像を見るときは

本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して画像を記録し再生します。本機がメモリーカードの管理ファイルに未登録の画像を認識した場合、「本機で管理されていない画像が見つかりました 登録します」という登録画面が表示されます。

管理されていない画像を見るときは、[OK]を選んで画像を登録してください。

- 画像を登録するときは充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して未登録の画像を登録すると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

再生ズーム

再生した画像を拡大します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 拡大したい部分をタッチする

タッチした部分を中心に、2倍に拡大される。ズーム(W/T)レバーをT側に動かしても、拡大される。

3 倍率や拡大位置を調整する

画面をタッチするたびに、さらに拡大表示される。

全体の中で現在表示されている部分

ボタン/操作方法	できること
上下左右になぞる	ズーム位置変更
⊕/⊖	倍率変更
✕	ズーム中止

画像を拡大し保存するには

MENU → [加工] → [トリミング(リサイズ)]で、拡大した画像を保存できます。

ワイドズーム

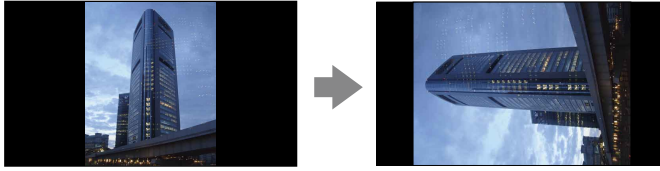
1枚再生時、4:3の画角の静止画を画面いっぱいに再生します。上下部分を少し切って表示します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 ←→(ワイドズーム)をタッチする
3 終了するには、再び ←→(ワイドズーム)をタッチする

ご注意

- 以下の場合は、ワイドズームできません。
  – 動画
  – パノラマ画像
  – 連写グループ表示された画像
  – 16:9の画像

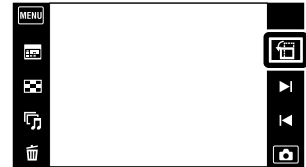
一時回転表示

1枚再生時、縦に表示された画像を一時的に横に回転して大きく表示します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 縦に表示された画像を選ぶ → (一時回転表示)をタッチする

3 終了するには、再び (一時回転表示)をタッチする

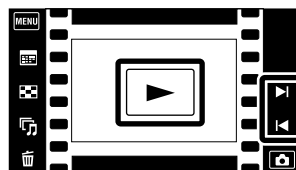
ご注意

- 以下の場合は、一時回転表示できません。
  - 動画
  - パノラマ画像
  - 横に表示された画像
- ▶I/I◀をタッチすると一時回転表示は解除されます。

動画再生

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 ▶I/I◀で動画を選ぶ

3 液晶画面の▶をタッチする

再生中、画面をタッチすると、操作ボタンが表示される。

ボタン/操作方法	できること
🔈	音量調整 🔈+/🔈-で調整する
I◀◀	頭出し
◀◀	早戻し
▶II もしくは画面をタッチ	再生/一時停止
I▶	スロー再生
▶▶	早送り

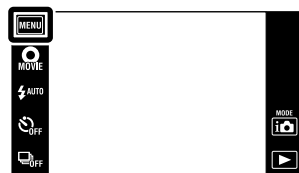
ご注意

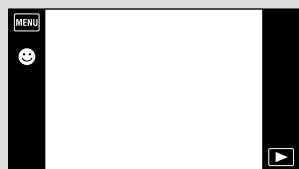
• 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。

かんたんモード

必要最低限の機能を使って静止画を撮影します。
文字が大きくなり、表示が見やすくなります。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 /モードボタンを(静止画)にする
3 MENU → EASY(かんたんモード) → [OK]

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 再生モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード(撮影)時に使用できる機能

スマイルシャッター： (スマイル)をタッチ
画像サイズ： MENU → [画像サイズ] → [大]または[小]を選ぶ
フラッシュ： MENU → [フラッシュ] → [オート]または[切]を選ぶ
セルフタイマー： MENU → [セルフタイマー] → [切]または[入]を選ぶ
かんたんモード終了： MENU → [かんたんモード終了] → [OK]をタッチ

おまかせシーン認識について

かんたんモードでは、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識マーク

- (夜景)、(夜景＆人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光＆人物)、(風景)、(マクロ)、(拡大鏡)、(人物)を認識し、認識した場合は画面に各マークが表示されます。
詳しくは68ページをご覧ください。

動画ボタン

すべての撮影モードから、すばやく動画撮影を開始することができます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MOVIE をタッチする

3 終了するには STOP をタッチする

シャッターボタンを深押ししても終了できる。

ご注意

- 以下の場合は、動画ボタンは使えません。
  - スマイルシャッター中
  - かんたんモード中
  - [セルフタイマー]使用時

動画記録方式、画質または、画像サイズを変更する

動画記録方式： MENU → (設定) → (撮影設定) → [動画記録方式] → [AVCHD]または[MP4]

画質(AVCHD)： (撮影モード) → AVCHD(動画撮影) → HQ(画質) → [AVC HD 17M FH]または[AVC HD 9M HQ]

画像サイズ(MP4)： (撮影モード) → MP4(動画撮影) → 1080(画像サイズ) → [MP4 12M]、[MP4 6M]または[MP4 3M]

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

動画撮影シーン

動画撮影時、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i📷(撮影モード) → AVCHD(動画撮影)
3 MENU → AUTO(動画撮影シーン) → 好みのモード
4 シャッターボタンを深押しする
5 終了するには、もう一度シャッターボタンを深押しする

✓	AUTO(オート)	カメラが自動調整する。
	(水中)	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、水中をきれいに撮影できる。

スマイルシャッター

笑顔を検出すると自動で撮影します。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**

2 **MENU → ☻(スマイルシャッター)をタッチする**

3 **笑顔を待つ**

スマイルレベルがインジケーターの▼を超えると、自動で撮影される。
スマイルシャッター中に、シャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

スマイル検出感度インジケーター

顔検出枠

4 **終了するには、MENU → ☻(スマイルシャッター)をタッチする**

ご注意

- メモリーカード/内蔵メモリーがいっぱいになると自動的に終了します。
- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- デジタルズームは使えません。
- 以下の場合は、[スマイルシャッター]は使えません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時
  – 逆光補正HDR撮影時

スマイル検出感度を設定する

スマイルシャッター中、笑顔を検出する感度を設定するボタンが表示されます。

☻：大笑いで検出する
☻：普通の笑顔で検出する
☻：ほほ笑み程度でも検出する

- かんたんモード中、スマイル検出感度は[普通の笑顔]に固定されます。
- [表示設定]が[切]の場合、スマイル検出感度は表示されません。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。
帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。
目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

- 顔検出されているうちの1人が笑えばシャッターが切れます。
- [顔検出]で笑顔を検出する被写体を優先的に設定したり、検出する顔の登録ができます。選択顔を登録している場合は、その顔でのみ笑顔を検出します。別の顔を検出したいときは、その顔をタッチします（70ページ）。
- 笑顔が検出されない場合はスマイル検出感度を設定してください。

フラッシュ

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 ⚡AUTO(フラッシュ)→ 好みのモード

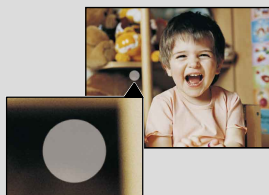
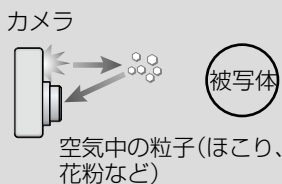
画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✔	**⚡AUTO(オート)**	暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。
	⚡(強制発光)	フラッシュを必ず発光する。
	⚡SL(スローシンクロ)	フラッシュを必ず発光する。 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。
	⚡(発光禁止)	フラッシュを発光しない。

ご注意

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、⚡● が表示されます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。
- おまかせオート撮影のとき、[強制発光]、[スローシンクロ]は使えません。
- 逆光補正HDR撮影のとき、[オート]、[スローシンクロ]は使えません。
- 以下の場合は、[フラッシュ]は[発光禁止]になります。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時

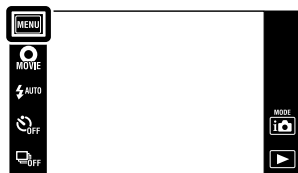
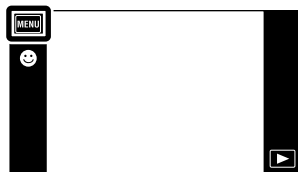
フラッシュ撮影で白く丸い点が写るときは

カメラの近くに浮かんでいるほこりや花粉などがフラッシュに反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。

軽減するには：

- 撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影する。
- シーンセレクションでISO(高感度)に設定して撮影する。([フラッシュ]は[発光禁止]になります)

フラッシュ

かんたん撮影モードのときは、MENUからフラッシュの設定を選びます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → EASY(かんたんモード) → [OK]

3 MENU → [フラッシュ] → 好みのモード

✓	オート	暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。
	切	フラッシュを発光しない。

セルフタイマー

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 (セルフタイマー) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	(切)	セルフタイマーを使わない。
	(10秒)	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、×をタッチする。
	(2秒)	セルフタイマーを2秒後に設定する。
	(自分撮り1人)	セルフタイマーを[自分撮り]に設定する。 設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。カメラを動かさないでください。
	(自分撮り2人)	

ご注意

- 動画撮影時は、[自分撮り1人]または[自分撮り2人]は選べません。
- スイングパノラマ撮影時は、セルフタイマーは無効です。

「自分撮り」で自動撮影

液晶画面に顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、液晶画面から顔が外れるのを防ぐことができます。

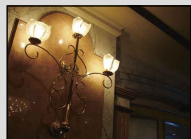
- 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

次のページにつづく↓

ブレを起こさないためには

シャッターボタンを押したときに、カメラを持つ手や体が揺れると「手ブレ」が起こります。

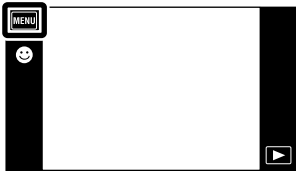
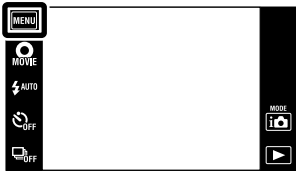
（夜景＆人物）や（夜景）など、暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、手ブレが起こりやすくなります。

下記の軽減方法を参考にしてください。

- セルフタイマーを2秒に設定して、シャッターを押したあとにしっかりと構え直す。
- 三脚を使用したり、カメラを平らな場所に置き、固定する。

セルフタイマー

かんたん撮影モードのときは、MENUからセルフタイマーの設定を選びます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → EASY（かんたんモード） → [OK]

3 MENU → [セルフタイマー] → 好みのモード

✓	切	セルフタイマーを使わない。
	入	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、×をタッチする。

撮影方向

スイングパノラマ撮影時、カメラを動かす方向を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

3 (撮影方向) → 好みのモード

✓	(右)	左から右に向かって撮影する。
	(左)	右から左に向かって撮影する。
	(上)	下から上に向かって撮影する。
	(下)	上から下に向かって撮影する。

画像サイズ/画質

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → 4:3 10M（画像サイズ）または HQ（画質）→ 好みのサイズ

撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

静止画撮影

	静止画画像サイズ	用途例	本機の液晶表示
✓	4:3 10M（3648×2736）	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3で表示
	4:3 5M（2592×1944）	L/2L/A4サイズまでの印刷	
	4:3 VGA（640×480）	Eメールに添付	
	16:9 7M（3648×2056）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA4サイズまでの印刷	画面いっぱいに表示
	16:9 2M（1920×1080）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	

ご注意

- 16:9で撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。

かんたんモード

✓	大	[10M]で撮影
	小	[5M]で撮影

スイングパノラマ（顔・動き検出対応）

✓	STD 標準 （左右：4912×1080） （上下：3424×1920）	標準サイズで撮影
	WIDE ワイド （左右：7152×1080） （上下：4912×1920）	長いサイズで撮影

動画撮影

画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、多いほどなめらかな動きになります。
動画の記録方式は撮影モードから MENU → （設定）→ （撮影設定）→［動画記録方式］で選びます（96ページ）。

動画記録方式（AVCHD）

本機の動画はAVCHD、約60フィールド/秒（1080 60i対応機）、または50フィールド/秒（1080 50i対応機）、インターレース、Dolby Digital音声、AVCHD方式で記録されます。

	動画画質	平均ビットレート	説明
	FH AVC HD 17M FH	17Mbps	1920×1080の最高画質で撮影
✓	HQ AVC HD 9M HQ	9Mbps	1440×1080の高画質で撮影

動画記録方式（MP4）

本機の動画はMPEG-4、約30フレーム/秒（1080 60i対応機）、または約25フレーム/秒（1080 50i対応機）、プログレッシブ、AAC音声、mp4形式で記録されます。

	動画画像サイズ	平均ビットレート	説明
✓	1080 MP4 12M	12Mbps	1440×1080で撮影
	720 MP4 6M	6Mbps	1280×720で撮影
	VGA MP4 3M	3Mbps	VGAサイズで撮影

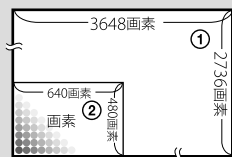
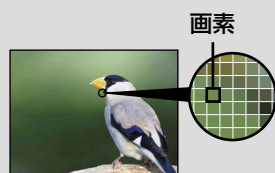
ご注意

- ［MP4 3M］を選択した場合は、望遠よりの画像になります。

次のページにつづく↓

「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素（ピクセル）」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指します。本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

① 画像サイズ：10M
3648画素×2736画素＝9980928画素
② 画像サイズ：VGA
640画素×480画素=307200画素

画素数が多い
（細密で、データ量が多い）

画素数が少ない
（粗いが、データ量が少ない）

連写

シャッターボタンを押し続けている間、最大10枚連写します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 OFF(連写) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	OFF(切)	1枚撮影する。
	Hi(高)	最高約10コマ/秒の速さで連写する。
	Mid(中)	最高約5コマ/秒の速さで連写する。
	Lo(低)	最高約2コマ/秒の速さで連写する。

ご注意

- 以下の場合は、[連写]できません。
  - スイングパノラマ撮影時
  - 動画撮影時
  - 人物ブレ軽減撮影時
  - 手持ち夜景撮影時
  - 逆光補正HDR撮影時
  - スマイルシャッター中
  - かんたんモード中
- [フラッシュ]は[発光禁止]になります。
- セルフタイマーで連写すると、最大5枚の連続撮影となります。
- 画像サイズによって撮影の間隔が長くなることがあります。
- [フォーカス]、[色合い(ホワイトバランス)]、[明るさ(EV補正)]は最初の1枚目に設定された値に固定されます。
- 内蔵メモリー使用時は、[画像サイズ]は[VGA]で記録されます。
- バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー/メモリーカードの容量がいっぱいになると、連写は停止します。
- 本機の撮影設定によっては、シャッタースピードが遅くなるため1秒間の連写枚数が少なくなります。

連写画像の記録について

連写画像の撮影後、液晶画面には撮影した枚数分の枠が一覧表示されます。枠に画像がすべて埋まると記録が完了します。

[記録中断] → [OK]をタッチすると、記録を中断できます。

中断した場合、一覧表示している画像と現在処理中の画像までが記録されます。

マクロ

虫や花など、小さいものを近くできれいに撮影したいときに使います。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → AUTO(マクロ) → 好みのモード

撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

✓	AUTO(オート)	遠景から近接まで自動でピントを合わせる。
	(拡大鏡)	近距離で撮影したい場合に使用する。W側固定で約1 cm ～ 20 cmの間でピントを合わせる。

ご注意

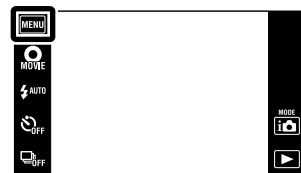
- 以下の場合は、[マクロ]は[オート]に固定されます。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時
  – スマイルシャッター中
  – かんたんモード中
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
- 拡大鏡撮影時は以下の点にご注意ください。
  – おまかせシーン認識、顔検出機能は使えません。
  – 拡大鏡モードは、電源を切ったり撮影モードを切り換えたりすると解除されます。
  – [フラッシュ]は[強制発光]、または[発光禁止]のみになります。
  – 通常よりもピント合わせが遅くなります。

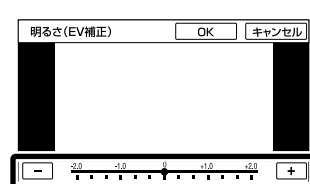
明るさ(EV補正)

－2.0EVから＋2.0EVの範囲で、1/3EV単位で露出を手動調節できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → 0EV(明るさ(EV補正))

撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

3 ＋/－をタッチして調節 → [OK]

調節バーの●をタッチしたまま、左右になぞることでも調節できる。

ご注意

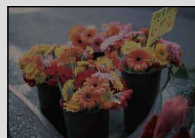
- 逆光補正HDR撮影時、かんたんモード中は[明るさ(EV補正)]は選べません。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

光の量を調整して好みの画像を撮る

露出オーバー＝光が多すぎる
画面が白くなる

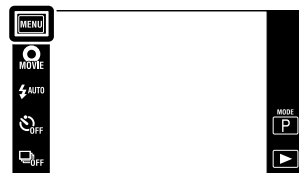
[明るさ(EV補正)]を－側にする

露出が適正

[明るさ(EV補正)]を＋側にする

露出アンダー＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

ISO

プログラムオート撮影、または、シーンセレクションで (水中)を選んでいるとき、明るさの感度を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → ISO AUTO(ISO) → 好みの数値

✓	ISO AUTO(オート)	カメラが自動で設定する。
	ISO 125/ISO 200/ISO 400/ISO 800/ISO 1600/ISO 3200	暗い場所や動いている被写体を撮影する場合、ISO感度を上げる(数値を大きくする)と、ブレを軽減できる。

ご注意

- 連写時は[ISO AUTO]、[ISO 125] ～ [ISO 800]までしか選べません。

ISO感度(推奨露光指数)の調整

ISO感度とは、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。

ISO感度が高い

シャッタースピードを速くしてブレを軽減し、露出が足りない場所でも、明るめに記録できます。
ただし、画像にノイズが増えます。

ISO感度が低い

ノイズの少ない画像を撮影することができます。
ただし露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

ブレを起こさないためには

カメラを固定していても、シャッターボタンを押したときに被写体が動いてしまい、ブレが起こります。本機では、自動的に手ブレは軽減できますが、被写体ブレには効果はありません。暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、被写体ブレが起こりやすくなります。
下記の軽減方法を参考にしてください。

- ISO感度の設定を上げてシャッタースピードを速くし、被写体が動く前にシャッターを切る。
- ISO（高感度）に設定して撮影する。

色合い(ホワイトバランス)

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (色合い(ホワイトバランス))

3 好みのモード → [OK]

✓	(オート)	自然な色合いになるよう、ホワイトバランスを自動調節する。
	(太陽光)	晴天の屋外や、夕景、夜景、ネオン、花火などに合わせる。
	(曇天)	曇り空や日陰に合わせる。
	(蛍光灯1) (蛍光灯2) (蛍光灯3)	[蛍光灯1]:白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯2]:昼白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯3]:昼光色蛍光灯の光に合わせる。
	(電球)	白熱球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	(フラッシュ)	フラッシュ光に合わせる。
	(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。 [ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。 [オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]で、基準になる「白」を取り込む。

次のページにつづく↓

ご注意

- おまかせオート撮影時、かんたんモード中は、[色合い(ホワイトバランス)]は選べません。
- 逆光補正HDR撮影時、フラッシュが[強制発光]の場合、[色合い(ホワイトバランス)]は選べません。
- 以下の場合は、[色合い(ホワイトバランス)]の[フラッシュ]は選べません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時
  – シーンセレクションが(高感度)のとき
- ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光灯1]、[蛍光灯2]、[蛍光灯3]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[色合い(ホワイトバランス)]は[オート]になります。
- [フラッシュ]が[強制発光]または[スローシンクロ]の場合、ホワイトバランスは[オート]、[フラッシュ]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。

ワンプッシュ取込で基準の「白」を取り込む

1 被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、レンズを向け、液晶画面いっぱいに表示する

2 MENU → (色合い(ホワイトバランス)) → [ワンプッシュ取込] → [取込]

画面が一瞬暗くなり、ホワイトバランスが調整されてカメラに記憶されると、撮影画面に戻る。

ご注意

- 撮影時、表示が点滅をしているときは、ホワイトバランスが未設定または設定できなかった場合を表しています。設定できなかった場合は[オート]で撮影してください。
- ワンプッシュ取込中は、本機を動かさないでください。
- [フラッシュ]が[強制発光]または[スローシンクロ]の場合、フラッシュが発光した状態でホワイトバランスが調節されます。
- [色合い(ホワイトバランス)]、[水中ホワイトバランス]で取り込んだ白の基準は、別々に記憶されます。

光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。
本機はこの変化を適正にするように自動調整しますが、ホワイトバランスを使うと、よりお好みの色合いに調整できます。

天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

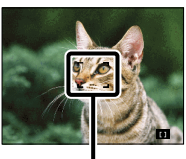
水中ホワイトバランス

シーンセレクションで(水中)、または動画撮影シーンで(水中)を選んでいるときの色合いを調整します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → WB(水中ホワイトバランス)

3 好みのモード → [OK]

✓	WB(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
	WB1(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
	WB2(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
	(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。[ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。[オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	SET(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]での基準になる「白」を取り込む(63ページ)。

ご注意

- 海の色によっては、[水中1]、[水中2]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]が[強制発光]の場合、[水中ホワイトバランス]は[オート]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。
- [色合い(ホワイトバランス)]、[水中ホワイトバランス]で取り込んだ白の基準は、別々に記憶されます。

フォーカス

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。
AFとは「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のことです。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (フォーカス) → 好みのモード

✓	(マルチAF)	画面全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影で半押しした時には、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。 • 顔検出が働いている場合には、顔を優先したAFになります。 • シーンセレクションが(水中)のときは、水中撮影に適したAFになります。半押ししてピントが合うと、大きな枠が緑色で表示されます。	AF測距枠
	(中央重点AF)	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。	AF測距枠
	(スポットAF)	非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。測距枠からはずれないように手ブレにご注意ください。	AF測距枠

ご注意

- デジタルズーム時や、[AFイルミネーター]を使用するときは、AF測距枠設定が無効になり、AF測距枠が点線で表示されます。この場合、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- [マルチAF]以外に設定しているとき、[顔検出]は[タッチ時]に固定されます。
- 以下の場合は、[マルチAF]で固定されます。
  – おまかせオート撮影時
  – 動画撮影時
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時
  – スマイルシャッター中
  – かんたんモード中
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
  – 画像をタッチしてピント合わせをしたとき

次のページにつづく↓

素早くピントを合わせるには

画面をタッチすると枠が表示され、シャッターを半押ししたときに枠内にピントが合います。

測光モード

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**
2 **MENU → ⊡（測光モード）→ 好みのモード**

✓	**⊡（マルチ）**	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する（マルチパターン測光）。
	⊙（中央重点）	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める（中央重点測光）。
	⊡（スポット）	被写体の一部分だけで測光する（スポット測光）。逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利。 スポット測光照準 被写体をここに合わせる

ご注意

- 動画撮影時は[スポット]は選べません。
- 以下の場合は、[マルチ]で固定されます。
  - おまかせオート撮影時
  - 逆光補正HDR撮影時
  - スマイルシャッター中
  - かんたんモード中
  - [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
  - 画面をタッチしてピント合わせをしたとき
- [マルチ]以外に設定しているとき、[顔検出]は[タッチ時]に固定されます。

おまかせシーン認識

本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。
動きを検出すると、動きに応じてISO感度が上がり被写体ブレを軽減します（動き検出）。

逆光が働いた写真例

シーン認識マークとガイド
以下のシーンを認識します。本機が最適なシーンを判別すると、各マークとガイドが表示されます。
（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 （撮影モード）→ （おまかせオート撮影）

3 MENU → （おまかせシーン認識）→ 好みのモード

✓	iSCN（オート）	シーン認識すると、最適な設定に切り換わり、撮影する。
	iSCN+（アドバンス）	シーン認識すると、最適な設定に切り換わり、（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）を認識すると、自動的にもう1枚撮影される。 • 2枚撮影される場合には、iSCN+のアイコンの+部分が緑色になります。 • 2枚撮影されると、撮影直後の画像は2枚並んで表示されます。 • ［目つぶり軽減］と表示されると自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動で選ばれます。詳しくは「目つぶり軽減機能とは」をご覧ください。

ご注意

- デジタルズーム撮影時は、おまかせシーン認識は働きません。
- 以下の場合は、［オート］で固定されます。
  – 連写時
  – スマイルシャッター中
  – ［セルフタイマー］が［自分撮り1人］または［自分撮り2人］のとき
- ［フラッシュ］は、［オート］または［発光禁止］になります。
- （三脚夜景）認識は、カメラを三脚に固定していてもカメラに振動が伝わる環境では認識できない場合があります。
- （三脚夜景）認識されると、スローシャッターになる場合があります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにしてください。
- シーン認識マークは［表示設定］の設定にかかわらず表示されます。
- 状況によっては、これらのシーンはうまく認識されない場合があります。

次のページにつづく↓

2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

[アドバンス]では、失敗しがちな(夜景)、(夜景＆人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光＆人物)を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。
後からお好みの1枚を選ぶことができます。

	1枚目*	2枚目
夜景	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
夜景＆人物	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
三脚夜景	スローシンクロで撮影	よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影
逆光	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影
逆光＆人物	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影

* [フラッシュ]は[オート]の場合です。

目つぶり軽減機能とは

[アドバンス]に設定して撮影したとき、(人物)認識時はカメラが自動的に2枚撮影*し、目つぶりしていない画像が自動選択されます。目をつぶっている画像しか撮影できなかった場合は、「目つぶりを検出しました」というメッセージが表示されます。

* フラッシュ発光時または、スローシャッター時を除く

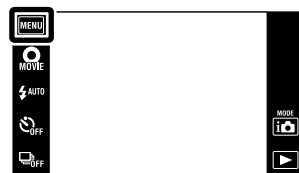
顔検出

カメラが人物の顔を判別して、フォーカス/フラッシュ /明るさ（EV補正）/色合い（ホワイトバランス）/赤目軽減発光の調整をします。

顔検出枠（オレンジ色）
複数の顔を検出している場合、カメラが主要被写体を判断して優先的にピントを合わせます。
主要被写体は顔検出枠がオレンジ色になります。
シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った枠は緑色になります。

顔検出枠（白色）

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (顔検出) → 好みのモード

	(タッチ時)	画面の顔部分にタッチしたとき顔検出をする。
✓	AUTO(オート)	カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。
	(こども優先)	子どもの顔を優先してピント合わせする。
	(おとな優先)	大人の顔を優先してピント合わせする。

ご注意

- 以下の場合は、[顔検出]は選べません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – かんたんモード中
- [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のときは[タッチ時]は選べません。
- [フォーカス]が[マルチAF]、[測光モード]が[マルチ]のときのみ、[顔検出]は選べます。
- デジタルズームのとき、顔検出機能は働きません。
- 最大8人の顔を検出できます。
- 状況によっては大人、子どもが正しく検出できない場合があります。
- スマイルシャッター撮影するときは、[顔検出]を[タッチ時]に設定しても自動的に[オート]になります。

次のページにつづく↓

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

通常は［顔検出］での設定に合わせ、カメラまかせでピントを合わせる顔を選びますが、優先したい顔を自分で選んで登録することもできます。

① 顔検出中に、登録したい顔をタッチする。
タッチした顔が優先顔として登録され、枠がオレンジ色の[ ]に変わる。

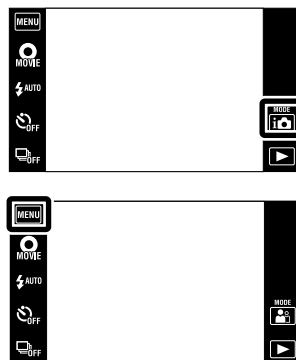
② 顔をタッチするたびに、登録が更新される。

③ 登録を解除したい場合は×をタッチする。

- バッテリーを本機から取り出すと、顔の登録はリセットされます。
- 登録した顔が画面から消えた場合は、［顔検出］で選んでいる設定に戻ります。登録した顔が再び画面に映った場合は、登録した顔でピント合わせをします。
- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによって登録した顔が正しく検出できない場合があります。このときは、撮影する環境で登録し直してください。
- 顔検出枠を登録してスマイルシャッターを実行すると、その顔だけがスマイル検知の対象になります。
- かんたんモード中、［セルフタイマー］が［自分撮り1人］または［自分撮り2人］のときは、顔の登録はできません。

目つぶり軽減

シーンセレクションで (ソフトスナップ)を選んで撮影したときに、カメラが自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動選択され表示、記録されます。

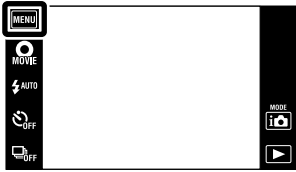
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i(撮影モード) → SCN(シーンセレクション) → (ソフトスナップ)
3 MENU → (目つぶり軽減) → 好みのモード

✓	(オート)	顔検出したとき、目つぶり軽減機能が働き、目つぶりしていない画像を記録する。
	(切)	目つぶり軽減機能を使わない。

ご注意

- 以下の場合は、目つぶり軽減機能は働きません。
  - フラッシュ発光時
  - 連写時
  - 顔検出が働かないとき
  - スマイルシャッター中
- 状況によっては目つぶり軽減できない場合があります。
- 目つぶり軽減機能を[オート]にしても、目を閉じている画像しか記録されなかった場合には、液晶画面に「目つぶりを検出しました」と表示されます。必要に応じて再度、撮影してください。

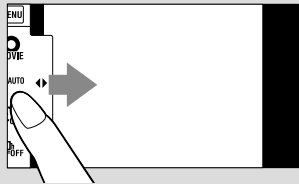
表示設定

撮影時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (表示設定) → 好みのモード

✓	(入)	操作ボタンを表示する。
	(切)	表示しない。

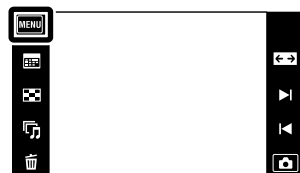
[切]のときに、操作ボタンを表示させるには

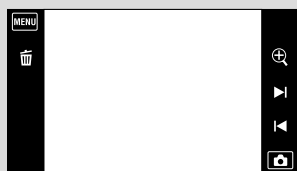
画面左側をタッチして右になぞると、操作ボタンを表示できます。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

かんたんモード

撮影した静止画をみるとき、文字が大きくなり、表示が見やすくなります。
使える機能も最低限になります。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → EASY（かんたんモード） → [OK]

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード（再生）時に使用できる機能

🗑（削除）：見ている画像を削除する。

⊕（ズーム）：再生した画像を拡大する。

- 上下左右になぞる、または▲/▼/◀/▶でズーム位置を変更できます。⊕/⊖で倍率変更できます。

MENU：

[1枚削除]で、見ている画像を削除する。

[全て削除]で、日付・フォルダ内すべての画像を削除する。

[かんたんモード終了]で、かんたんモードを終了する。

- メモリーカード使用時、[ビューモード]は[日付ビュー]になります。

カレンダー表示

日付ビューのとき、カレンダー画面から再生する日付を選べます。
すでに日付ビューの設定になっている場合は、手順2は不要です。

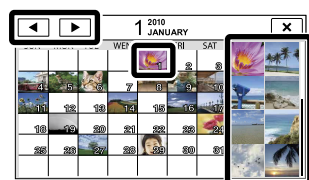
1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (ビューモード) → (日付ビュー)

3 (カレンダー表示)をタッチする

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

4 ◀/▶で表示したい月を選び、日付をタッチする

選択した日付の画像を上下になぞると、ページの送り戻しができ、画像をタッチすると1枚再生に戻る。

選択した日付の画像

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。

一覧表示

同時に複数の画像を表示させます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 (一覧表示)をタッチする

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

3 画面を上下になぞり、ページを送る

一覧表示画面で画像をタッチすると1枚再生に戻る。

スライドショー

画像を自動的に連続再生します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 (スライドショー) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

(連続再生)	すべての画像を連続再生する。
(音楽付スライドショー)	画像に効果や音楽を付けて連続再生する。

連続再生

1 再生を開始したい画像を選ぶ

2 (スライドショー) → [連続再生]

3 終了するときは、画面をタッチして[連続再生終了]をタッチする

- 動画の音量を調節するには画面をタッチして+/-で調節してください。

ご注意

- [連写グループ表示]が[グループ代表画像のみ表示]の場合は、代表画像のみ表示されます。

連続再生中にパノラマ画像を見るときは

パノラマ画像は全体画像を3秒間表示します。
▶をタッチするとスクロール再生を行います。

音楽付きスライドショー

1 (スライドショー) → [音楽付スライドショー]
2 好みの設定 → [実行]
3 終了するときは、画面をタッチして[スライドショー終了]をタッチする

ご注意

- 以下の場合は、[音楽付スライドショー]で再生できません。
  – パノラマ画像
  – [ビューモード]が[フォルダビュー（MP4)]または[AVCHDビュー]のとき

再生画像 再生する画像のグループを設定する。内蔵メモリー使用時は[フォルダ内]に固定される。		
✓	**全て**	すべての画像を順番に再生する。
	この日付	[ビューモード]が(日付ビュー)のとき、選択中の日付内の画像を再生する。
	フォルダ内	フォルダビューのとき、選択中のフォルダ内の画像を再生する。

エフェクト スライドショーの再生テンポや雰囲気を設定する。動画の再生時間が長い場合、画像を切り取って表示する。		
✓	**シンプル**	画像を一定間隔で送るシンプルなスライドショー。[間隔設定]で再生間隔が変更でき、画像そのものをじっくりと楽しむことができる。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。

ご注意

- [連写グループ表示]が[グループ代表画像のみ表示]のとき、連写画像は以下のように表示されます。
  – [シンプル]のとき、代表画像1枚のみ表示。
  – [シンプル]以外で、連写画像が2枚以下の場合は代表画像のみ表示。
  – [シンプル]以外で、連写画像が3枚以上の場合は代表画像を含めた3枚を表示。

次のページにつづく↓

	BGM スライドショーとともに再生する音楽を設定する。複数のBGMを選ぶことができ、🔊をタッチすると各BGMを試聴できる。BGMの音量は 🔉+/🔉-で調節する。	
✓	Music1	[エフェクト]が[シンプル]のときの初期設定。
	Music2	[エフェクト]が[ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music3	[エフェクト]が[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music4	[エフェクト]が[アクティブ]のときの初期設定。
	消音	BGMはつけない。

ご注意

- 動画の音声は流れません。

	間隔設定 画面が切り替わる間隔を設定する。[エフェクト]が[シンプル]のとき以外は[オート]に固定される。	
	1秒	[エフェクト]が[シンプル]のときのみ。
✓	**3秒**	
	5秒	
	10秒	
	オート	選択している[エフェクト]に適した間隔になる。

ご注意

- 動画再生の場合は、間隔設定は無効になります。

	リピート スライドショーを繰り返し行うかどうかを設定する。	
✓	**入**	繰り返しスライドショーする。
	切	1回スライドショーする。

好きな曲をBGMにする♪

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして行います。詳しくは、133、134ページをご覧ください。

- 本機には4曲までBGMを記録できます。(出荷時には、4曲分(Music1 ~ 4)すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ換えることができます。)
- 本機で再生できる曲の長さは、1曲最長5分までです。
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMフォーマット](115ページ)を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送し直してください。

削除

不要な画像を選んで削除できます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 🗑（削除）→ 好みのモード

（この画像以外全て）	連写グループ表示時、選択している画像以外を削除する。 手順2の後に、[OK]をタッチする。
（グループ内全て）	選択している連写グループ内すべての画像をまとめて削除する。 手順2の後に、[OK]をタッチする。
（この画像）	1枚再生時に見ている画像を削除する。
（画像選択）	画像を何枚か選んで削除する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、削除したい画像をタッチする。 削除したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度タッチすると、削除の選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
（日付内全て） **（フォルダ内全て）** **（AVCHD動画全て）**	選択している日付・フォルダ内すべての画像、またはAVCHD動画をまとめて削除する。 手順2の後に、[OK]をタッチする。

ご注意

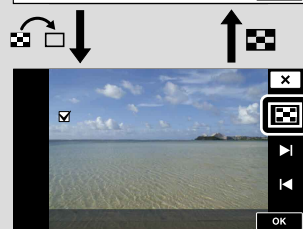
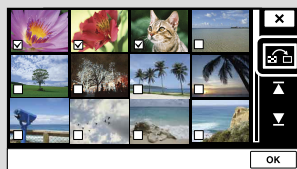
- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示され、静止画と動画を一緒のフォルダで表示します。

かんたんモード

1枚削除	見ている画像を削除する。
全て削除	日付・フォルダ内すべての画像を削除する。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

一覧表示、1枚再生を切り換えながら選べます

一覧表示時に をタッチすると1枚再生に、1枚再生時に をタッチすると一覧表示になります。

- プロテクト、DPOF、印刷のときも切り換えられます。

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

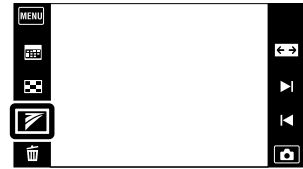
索引

TransferJet送信

TransferJetとは、通信したい製品同士を合わせることでデータ送信できる、近接無線転送技術です。
お使いのカメラにTransferJet機能が搭載されているかどうかは、本体底面の(TransferJet)マークを確認してください。
TransferJet搭載"メモリースティック"(別売)を使用すると、TransferJet対応機器との間で画像を転送できます。
TransferJetについて詳しくは、TransferJet搭載"メモリースティック"の取扱説明書もご覧ください。

1 TransferJet 搭載"メモリースティック"を本機に入れ、▶(再生)ボタンを押す

2 (TransferJet送信) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

3 本機と相手機器の(TransferJet)マークを合わせて画像を送信する

接続されると通知音が鳴る。

(この画像)	1枚再生時に見ている画像を送信する。
(画像選択)	画像を何枚か選んで送信する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、送信したい画像をタッチする。 送信したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度タッチすると、送信の選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。

ご注意

- 送信できる画像は静止画のみです。
- 1度に送信できるのは10枚までです。
- あらかじめ、MENU → (設定) → (本体設定)で[TransferJet]を[入]にしてください(117ページ)。
- 飛行機の中では、MENU → (設定) → (本体設定)で[TransferJet]を[切]にしてください(117ページ)。その他、ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。
- 約30秒送信できないと接続を中断します。その場合は再送確認画面で[はい]を選んで、再度本機と相手機器の(TransferJet)マークを近づけてください。
- 法規制や法規制対応時期などにより、国や地域によってはTransferJet 搭載"メモリースティック"また、TransferJet機能搭載モデルは発売されておりません。
- お買い上げの国や地域以外では、[TransferJet]を[切]にしてください。国や地域によっては電波制限があるため、TransferJet機能を使用した場合、罰せられることがあります。

TransferJetで画像を受信する

1 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

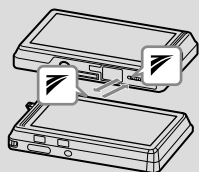
2 本機と送信機器の (TransferJet)マークを合わせて、画像を受信する

接続されると通知音が鳴る。

ご注意

- 本機で表示できる画像のみ再生できます。
- 保存中に管理ファイルエラーが発生した場合、管理ファイル修復画面が表示されます。
- 管理ファイルに登録できなかった画像は[フォルダビュー(静止画)]で再生してください。

データをうまく送受信するポイント

本機と相手側の (TransferJet)マークを合わせてください。

- (TransferJet)マークを合わせる角度によっては、通信の速度や範囲が変わります。
- 図のようにカメラ同士を平行にして (TransferJet)マークを合わせると送受信しやすくなります。

別売のTransferJet対応機器を使う

別売のTransferJet対応機器を使うとパソコンへの画像送信など、さらにデータ送信の楽しみ方が広がります。

詳しくは、TransferJet対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- TransferJet対応機器をお使いの場合、以下の点にご注意ください。
  - あらかじめ、本機を再生モードにしてください。
  - 画像が表示されない場合、MENU → (設定) → (本体設定) → [LUN設定]を[シングル]にしてください。
  - 接続中、本機への書き込みや削除はできません。
  - 「PMB」に画像を取り込み中、接続を中断しないでください。

ペイント

静止画に描き込みをして、新しいファイルとして記録します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → （ペイント）

内蔵メモリー時は、画面左側に表示される（ペイント）をタッチする。

3 ペイントペン（付属）を使って描きこむ

4 または ボタンをタッチ → 保存する画像サイズを選ぶ

	ボタン		できること
1		保存	内蔵メモリー、メモリーカードにVGAまたは5Mで保存する。
2		ペン	文字や絵を描く。
3		消しゴム	間違いを消す。
4		スタンプ	スタンプを押す。
5	・/♥	太さ/スタンプ	ペンと消しゴムの太さ/スタンプの種類を選ぶ。
6	■	色	色を選ぶ。
7	×	終了	ペイントを終了する。
8		フレーム	フレームを付ける。 ◀/▶でお好みのフレームを選ぶ。
9		戻る	一つ前の状態に戻る。
10		オールクリア	ペイントを全部消す。

ご注意

• パノラマ画像、連写グループ表示された画像、動画にはペイントできません。

加工

撮影した画像を加工し、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (加工) → 好みのモード
3 各モードの操作方法に従って、実行する

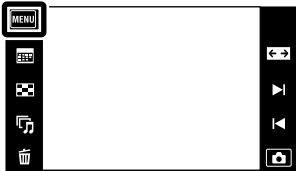
(トリミング(リサイズ))	再生ズームの画像を一部切り取る。 ⊕/⊖をタッチする → ▲/▼/◀/▶で位置調整する → NEXT → ◀/▶ で保存する画像サイズを選ぶ → NEXT → [OK] • トリミングすると画質は劣化します。 • 画像によってトリミングできる画像サイズは異なります。
(赤目補正)	フラッシュ撮影時に赤く映った目を補正する。 赤目補正が完了したら、[OK]をタッチする。 • 画像によっては補正できない場合があります。
(ピントくっきり補正)	中心とする枠を決め、画像をくっきりと補正する。 中心とする枠をタッチする → NEXT → [OK] • 画像によっては、充分な補正がかからなかったり、画像が劣化する場合があります。

ご注意

• パノラマ画像、連写グループ表示された画像、動画には加工できません。

ビューモード

画像を表示する方法を選びます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (ビューモード) → 好みのモード

✓	(日付ビュー)	日付ごとに分けて表示する。
	(フォルダビュー(静止画))	静止画を表示する。
	MP4(フォルダビュー(MP4))	MP4形式の動画を表示する。
	AVCHD(AVCHDビュー)	AVCHD形式の動画を表示する。

ご注意

- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示され、静止画と動画を一緒のフォルダで表示します。
- 本機はイベントビューに対応していません。

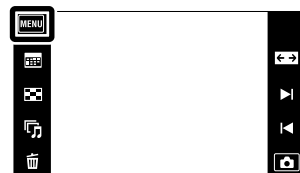
他機で撮影した画像を見るときは

本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して画像を記録し再生します。本機がメモリーカードの管理ファイルに未登録の画像を認識した場合、「本機で管理されていない画像が見つかりました 登録します」という登録画面が表示されます。
管理されていない画像を見るときは、[OK]を選んで画像を登録してください。

- 画像を登録するときは充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して未登録の画像を登録すると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

連写グループ表示

再生時、連写画像をグループ化して表示させるか、すべて表示させるかを選びます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → （ビューモード）→ （日付ビュー）
3 MENU → （連写グループ表示）→ 好みのモード

✓	（グループ代表画像のみ表示）	連写画像をグループ化し、代表画像のみ再生する。 • 連写撮影中に顔検出した場合、本機が最適と判断した画像を代表画像とします。顔検出しなかった場合は、1枚目の画像が代表画像になります。
	（全て表示）	すべての連写画像を1枚ずつ再生する。

グループ化した連写画像を並べて表示する

［グループ代表画像のみ表示］に設定した場合、代表画像のみが表示されます。
以下の手順で画像を並べて表示できます。

グループ代表画像　連写一覧表示　1枚表示

上部に表示される画像

① 再生モードでグループ代表画像を表示し、画像をタッチする。
　連写画像が一覧表示される。
② ▶I/I◀をタッチすると連写した画像を1枚ずつ表示する。
　• 画面下のサムネイル画像をタッチしても表示を変更できる。
③ 画像をタッチするたびに、1枚表示、連写一覧表示が切り替わる。
④ 終了するには✕をタッチする。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

プロテクト

撮影した画像を誤って消さないように保護(プロテクト)します。
登録された画像にはマークが表示されます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (プロテクト) → 好みのモード

(この画像)	1枚再生時に見ている画像をプロテクトする。
(画像選択)	画像を何枚か選んでプロテクトする。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プロテクトしたい画像をタッチする。 プロテクトしたい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度タッチすると、プロテクトの選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
(日付内全て設定)	選択している日付・フォルダ内すべての画像、またはAVCHD動画すべてのプロテクトを設定する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
(フォルダ内全て設定)	
(AVCHD動画全て設定)	
(日付内全て解除)	選択している日付・フォルダ内すべての画像、またはAVCHD動画すべてのプロテクトを解除する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
(フォルダ内全て解除)	
(AVCHD動画全て解除)	

ご注意

• 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示され、静止画と動画を一緒のフォルダで表示します。

DPOF

DPOFとは「Digital Print Order Format」の略です。プリントしたい画像をメモリーカード上に指定することができます。
登録された画像にはDPOFマークが表示されます。

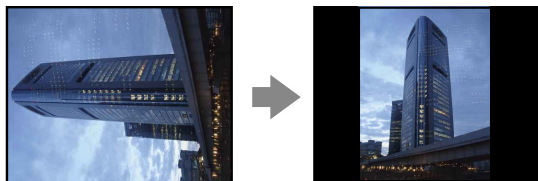
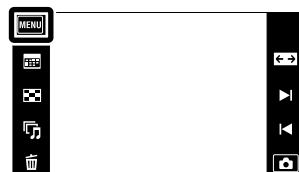
1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → DPOF → 好みのモード

DPOF（この画像）	1枚再生時に見ている画像をプリント予約する。
DPOF（画像選択）	画像を何枚か選んでプリント予約する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プリント予約したい画像をタッチする。 プリント予約したい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度タッチすると、プリント予約の選択は解除される。 ② ［OK］ → ［OK］をタッチする。
DPOF ON（日付内全て設定）	選択している日付・フォルダ内すべての画像のプリント予約を設定する。 手順2の後に［OK］をタッチする。
DPOF ON（フォルダ内全て設定）	
DPOF OFF（日付内全て解除）	選択している日付・フォルダ内すべての画像のプリント予約を解除する。 手順2の後に［OK］をタッチする。
DPOF OFF（フォルダ内全て解除）	

ご注意

- 動画と内蔵メモリー内の画像にはプリント予約マークが付けられません。
- プリント予約マークは999枚まで付けられます。

回転

静止画を左右に回転します。横向きに表示されている画像を、縦に表示したいときに使います。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → （回転）
3 / → [OK]

ご注意

- 動画、連写グループ表示された画像、プロテクトされている画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

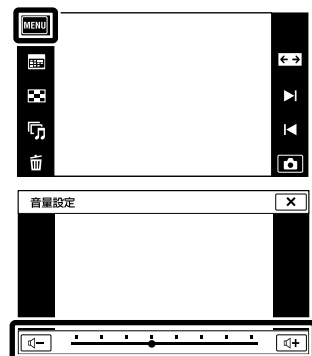
音量設定

スライドショー、動画再生時の音量を調節します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → 🔈（音量設定）

3 🔈+/🔈−をタッチして調節 → ✕

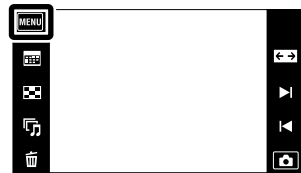
音量調節バーの●をタッチしたまま、左右になぞることでも音量調節できる。

動画再生中、スライドショー中に調節するには

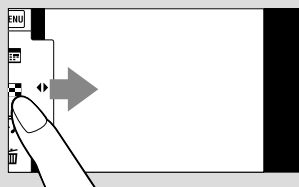
動画再生： 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、🔈をタッチして🔈+/🔈−で調節します。

スライドショー： 画面をタッチして🔈+/🔈−で調節します。

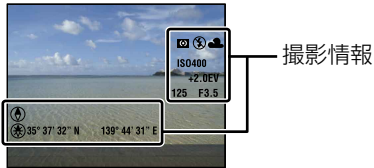
表示設定

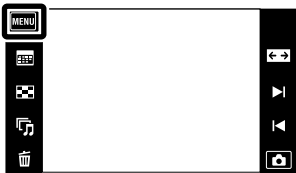
再生時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (表示設定) → 好みのモード

✓	ON(入)	操作ボタンを表示する。	
	OFF(切)	表示しない。	

[切]のときに、操作ボタンを表示させるには

画面左側をタッチして右になぞると、操作ボタンを表示できます。

画像情報

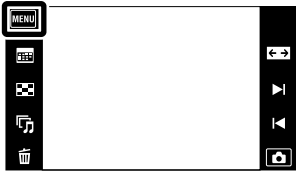
液晶画面に表示しているファイルの撮影情報を表示するかどうか設定します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (画像情報) → 好みのモード

	(入)	画面に撮影情報を表示する。
✓	(切)	表示しない。

一覧表示設定

一覧表示時、画像を表示する枚数を設定します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (一覧表示設定) → 好みのモード

	(12枚)	12枚で表示する。
✓	(28枚)	28枚で表示する。

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

索引

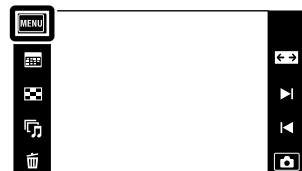
再生フォルダ選択

メモリーカード内に複数のフォルダがあるとき、再生したい画像の入っているフォルダを選びます。
すでにフォルダビューの設定になっている場合は、手順2は不要です。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → （ビューモード）→［フォルダビュー（静止画）］、または［フォルダビュー（MP4）］

3 MENU → （再生フォルダ選択）→ ▲/▼で再生したいフォルダを選択 →［OK］

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。

フォルダをまたいで画像を見るには

複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。

：前のフォルダに移動可能

：後ろのフォルダに移動可能

：前/後のフォルダに移動可能

動画記録方式

動画を記録するときの記録方式を設定します。

1 MENU → （設定）→ （撮影設定）→ ［動画記録方式］→ 好みのモード

✓	AVCHD	滑らかな映像をハイビジョンテレビで見るのに適した記録方式です。 AVCHD動画を記録します。
	MP4	WEBアップロードやメールに適した記録方式です。 mp4（AVC）動画を記録します。

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が発光して、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面に が表示されます。

1 MENU → (設定) → (撮影設定) →
[AFイルミネーター] → 好みのモード

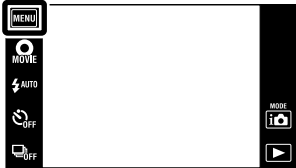
✓	オート	AFイルミネーターを使用する。
	切	使用しない。

ご注意

- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- 以下の場合は、AFイルミネーターは使えません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – シーンセレクションが (風景)、(夜景)、(ペット)、(打ち上げ花火)、(高速シャッター)に設定されているとき
  – [ハウジング]が[入]のとき
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
- AFイルミネーターを使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

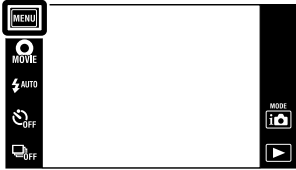
グリッドライン

グリッドラインを画面に表示して撮影すると、グリッドラインを基準にして水平/垂直のライン合わせができます。

1 MENU → （設定）→ （撮影設定）→［グリッドライン］→ 好みのモード

	入	グリッドラインを表示する。グリッドラインは記録されない。
✓	**切**	表示しない。

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率（4倍）まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

1 MENU → （設定） → （撮影設定） → [デジタルズーム] → 好みのモード

✔	スマート（sQ）	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限する（スマートズーム）。
	プレシジョン（PQ）	画像サイズの設定にかかわらず、光学ズーム4倍含む、総合ズーム倍率約8倍までズームをする。光学ズーム倍率を超えると、画像は劣化する（プレシジョンデジタルズーム）。
	切	デジタルズームを使用しない。

ご注意

- 以下の場合は、デジタルズームできません。
  - スイングパノラマ撮影時
  - 動画撮影時
  - 逆光補正HDR撮影時
  - スマイルシャッター中
  - [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
- [画像サイズ]が[10M]、[16:9（7M）]のときは、スマートズームできません。
- デジタルズームのとき、顔検出は働きません。

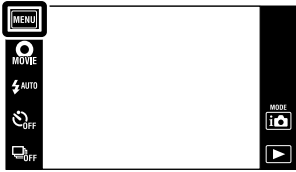
スマートズーム時の総合ズーム倍率（光学ズーム4倍含む）

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

画像サイズ	総合倍率
5M	約5.6倍
VGA	約22倍
16:9（2M）	約7.6倍

縦横判別

縦位置で撮影したとき、回転情報を記録して画像を縦に表示します。

1 MENU → (設定) → (撮影設定) → [縦横判別] → 好みのモード

✔	入	画像の縦横を判別して記録する。
	切	使用しない。

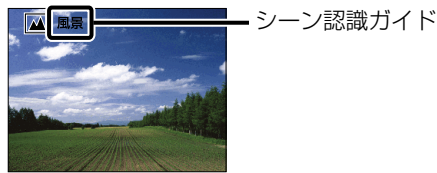
ご注意

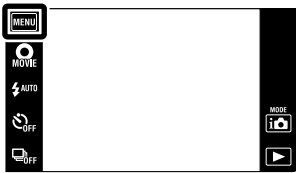
- 縦位置の画像は左右が黒く表示されます。
- 本機の撮影角度によっては、画像の縦横向きを正しく記録できない場合があります。
- シーンセレクションが(水中)のとき、または動画撮影時は[縦横判別]は使えません。

撮影後に画像を回転する

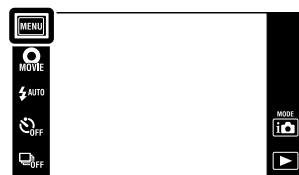
画像の向きが正しく記録されなかった場合は、再生メニューの[回転]で画像を縦に表示できます。

シーン認識ガイド

おまかせシーン認識が働いているとき、シーン認識マークの横に表示されるガイドの有無を設定します。

シーン認識ガイド

1 MENU → （設定）→ （撮影設定）→ [シーン認識ガイド] → 好みのモード

✓	入	シーン認識ガイドを表示する。
	切	表示しない。

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 MENU → （設定）→ （撮影設定）→ [赤目軽減] → 好みのモード

✓	オート	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	入	常に赤目軽減発光する。
	切	赤目軽減発光しない。

ご注意

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。
- 以下の場合は、[赤目軽減]は[切]になります。
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時
  – シーンセレクションが ISO（高感度）のとき
  – スマイルシャッター中

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

その他の軽減方法

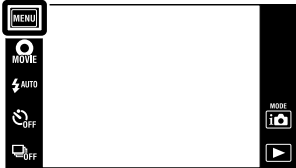
- シーンセレクションでISO（高感度）に設定して撮影する。（[フラッシュ]は[発光禁止]になります。）
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

目つぶり通知

顔検出機能が働いているとき、目を閉じている画像を記録すると、液晶画面に「目つぶりを検出しました」というメッセージを表示します。

1 MENU → 🧰（設定）→ 📷（撮影設定）→ ［目つぶり通知］→ 好みのモード

✓	オート	目つぶり通知を表示する。
	切	表示しない。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

操作音

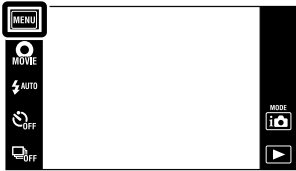
操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ ［操作音］→ 好みのモード

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	**大**	タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。 音を小さくしたいときは［小］にする。
	小	
	切	音は鳴らない。

画面の明るさ

液晶画面の明るさを設定します。

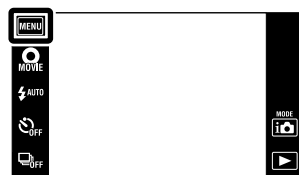
1 MENU → （設定）→ （本体設定）→
　[画面の明るさ] → 好みのモード

✓	**標準**	標準の明るさに設定する。
	明るい	標準より明るくする。 • 明るい屋外で使用するときに便利です。

ご注意

- [明るい]に設定した場合、バッテリーの消費は早くなります。
- 電源を入れたまま一定時間操作しないと、液晶画面が暗くなります。
- 動画撮影時、[画面の明るさ]は[標準]になります。

デモモード

おまかせシーン認識やスマイルシャッターのデモンストレーションの有無を設定できます。デモンストレーションを見る必要のないときは、[切]に設定します。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [デモモード] → 好みのモード

2 （撮影モード）→ （おまかせオート撮影）

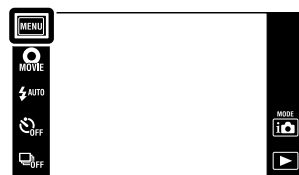
	デモモード1	おまかせシーン認識のデモンストレーションを行う。
	デモモード2	15秒間操作を行わないと自動でスマイルシャッターのデモンストレーションを行う。
	デモモード3	本機とハイビジョンテレビをHDMIケーブル（別売）を使って接続した状態で一定時間操作を行わないと、自動でAVCHD動画再生のデモンストレーションを行う。
✓	切	デモンストレーションを行わない。

ご注意

- スマイルシャッターのデモンストレーション中、シャッターボタンを押すとシャッターは切れますが、画像は記録されません。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。
[設定リセット]を実行しても、画像は削除されません。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [設定リセット] → [OK]

ご注意

• 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

HDMI解像度

本機のマルチ出力スタンド（付属）とHDMI端子のあるハイビジョンテレビをHDMIケーブル（別売）で接続して見る場合に、HDMI端子からテレビに出力する解像度を選びます。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → [HDMI解像度] → 好みのモード

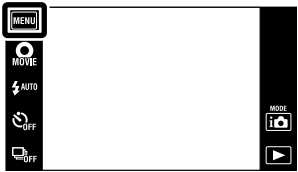
✓	**オート**	本機がハイビジョンテレビを自動認識し、出力する解像度を決定する。
	1080i	HD画質（1080i）で出力する。
	480p/576p	SD画質（480p/576p）で出力する。 • 1080 60i対応機のときは480p、1080 50i対応機のときは576pで出力されます。

ご注意

- [オート]で正しく画面が表示されない場合は、接続するテレビに合わせて、[1080i]または[480p/576p]を選んでください。
- 本機とテレビをHDMIケーブル（別売）を使って接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

HDMI機器制御

HDMIケーブル（別売）を使ってブラビアリンク対応テレビをつないだ場合に、テレビのリモコンで本機を操作できます。ブラビアリンクについては130ページをご覧ください。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [HDMI機器制御] → 好みのモード

✓	入	テレビのリモコンで操作をする。
	切	テレビのリモコンで操作をしない。

ご注意

- 2008年以降に発売されたブラビアリンク対応テレビで使用できます。

コンポーネント出力

本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続する場合に、接続するテレビに合わせてビデオ信号の種類を設定します。
「Type2c」対応のHD出力アダプターケーブル（別売）をお使いください。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → [コンポーネント出力] → 好みのモード

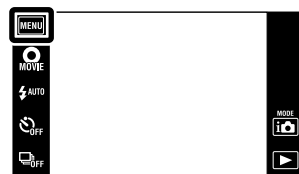
✓	HD（D3）	D3/D4/D5端子があるテレビと接続するときに選ぶ。
	SD	D1/D2端子があるテレビと接続するときに選ぶ。

ご注意

- 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

ハウジング

ハウジング（マリンパック）装着時専用の操作ボタンを表示します。ハウジングの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [ハウジング] → 好みのモード

	入	ボタンの働きを変更する。
✓	**切**	ボタンの働きを変更しない。

ご注意

- 画面をタッチしてピント合わせをすることができません。
- 機能の一部が制限され、液晶画面上のアイコンの配置が変わります。

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをUSBケーブルで接続するときのモードを設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [USB接続] → 好みのモード

✓	オート	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する。
	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する。
	PTP/MTP	本機とパソコンを接続した場合は自動再生ウィザードが起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の静止画をパソコンに取り込む。(Windows 7/Vista/XP、Mac OS Xに対応)
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する。

ご注意

- [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定し直してください。
- [オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定し直してください。
- [PTP/MTP]では、動画の取り込みはできません。動画をパソコンに取り込むときは、[オート]または[Mass Storage]に設定してください。

LUN設定

本機をパソコンやAV機器とUSB接続したとき、パソコンなどに表示される記録メディアの表示方法を設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [LUN設定] → 好みのモード

✓	**マルチ**	メモリーカードと内蔵メモリー両方の画像を表示する。パソコンと接続するときに選ぶ。
	シングル	メモリーカード挿入時はメモリーカードの画像、非挿入時は内蔵メモリーの画像を表示する。パソコン以外の機器と接続したときで、両方の画像が表示されなかった場合に選ぶ。

ご注意

- 「PMB Portable」でネットワークサービスに画像をアップロードする場合は、必ず[LUN設定]を[マルチ]にしてください。

BGMダウンロード

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」を使ってBGMの入れ換えをするときに使用します。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [BGMダウンロード]
   「スライドショー用の音楽を変更　PCと接続してください」というメッセージが表示される。
2 本機とパソコンをUSB接続し、「Music Transfer」を起動する
3 画面の操作手順に従って、BGMファイルの入れ換えを行う

目次

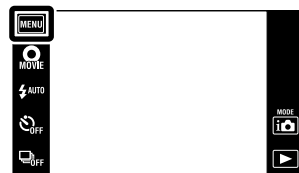
やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

索引

BGMフォーマット

本機に入っているBGMをすべて削除します。BGMファイルが破損して再生ができない場合などに使います。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMフォーマット] → [OK]

出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは

CD-ROM(付属)に収録されている「Music Transfer」を使うと、出荷時の曲を再び本機に戻せます。

① [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンをUSB接続する。

② 「Music Transfer」を起動して、すべて初期の曲に戻す。

- 「Music Transfer」の使いかたについて詳しくは、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

パワーセーブ

液晶画面が暗くなるまでの時間と電源が切れるまでの時間を設定します。バッテリー使用時、電源を入れたまま一定時間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため画面は暗くなり、その後自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。

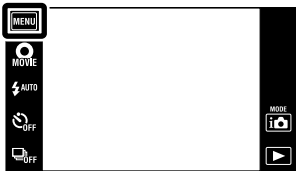
1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [パワーセーブ] → 好みのモード

	スタミナ	本機を約30秒操作しないと自動で液晶画面が暗くなり、さらに約30秒操作しないと電源が切れる。
✓	**標準**	本機を約1分間操作しないと自動で液晶画面が暗くなり、さらに約1分間操作しないと電源が切れる。
	切	自動で液晶画面が暗くならず、電源が切れない。

TransferJet

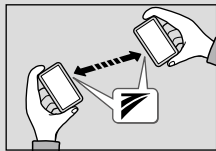
TransferJetの通信設定をします。
TransferJet とは、通信したい製品同士を合わせせることでデータ送信ができる、近接無線転送技術です。
お使いのカメラにTransferJet機能が搭載されているかどうかは、本体底面の (TransferJet)マークを確認してください。
TransferJet搭載"メモリースティック"(別売)を使用すると、TransferJet対応機器との間で画像を転送できます。

TransferJetについて詳しくは、TransferJet搭載"メモリースティック"の取扱説明書もご覧ください。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [TransferJet] → 好みのモード

✔	入	TransferJetで通信をする。
	切	TransferJetで通信をしない。

ご注意

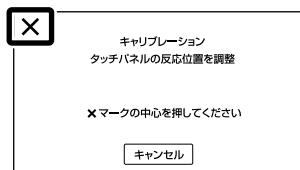
- かんたんモード時は[TransferJet]は[切]に固定されます。
- 飛行機の中では[TransferJet]を[切]にしてください。その他、ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。
- 約30秒送信できないと接続を中断します。その場合は再送確認画面で[はい]を選んで、再度本機と相手機器の (TransferJet)マークを近づけてください。
- 法規制や法規制対応時期などにより、国や地域によってはTransferJet搭載"メモリースティック"また、TransferJet機能搭載モデルは発売されておりません。
- お買い上げの国や地域以外では、[TransferJet]を[切]にしてください。国や地域によっては電波制限があるため、TransferJet機能を使用した場合、罰せられることがあります。

TransferJetとは

TransferJet 搭載"メモリースティック"をカメラに挿入し、対応機種同士の (TransferJet)マークを合わせせることで画像データの送受信を行え、画像をシェアできます。画像送信については82ページをご覧ください。

キャリブレーション

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときキャリブレーションを行います。

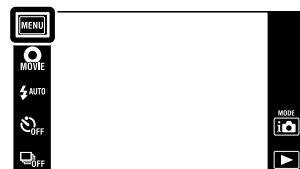
1 MENU →（設定）→（本体設定）→
[キャリブレーション]

2 ペイントペンを使って画面に表示される×マークの中心を順番に押していく

ご注意

- [キャンセル]をタッチしてキャリブレーションを途中でやめた場合は、ここまでの調整は反映されません。
- 正しい位置を押さなかった場合、キャリブレーションが行われません。×マークの中心を押しなおしてください。

フォーマット

メモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマット（初期化）します。
メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず本機でフォーマットすることをおすすめします。
フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

1 MENU →（設定）→（メモリーカードツール）、または（内蔵メモリーツール）→ [フォーマット] → [OK]

ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

記録フォルダ作成

メモリーカードの中に新しいフォルダを作成します。
画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。

1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [記録フォルダ作成] → [OK]

ご注意

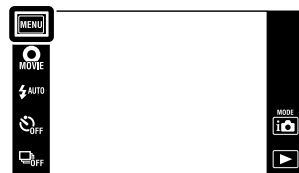
- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダを作成する場合があります。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚です。フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

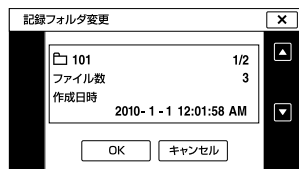
フォルダについて

新しいフォルダを作ると、記録先フォルダを変更したり（121ページ）、再生時のフォルダを選択（95ページ）できます。

記録フォルダ変更

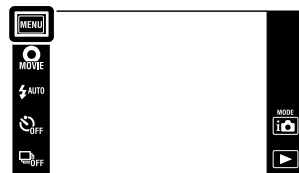
メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを変更します。

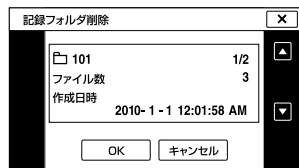
1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [記録フォルダ変更]

2 ▲/▼で、記録したいフォルダを選択 → [OK]

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 以下のフォルダは記録フォルダとして選べません。
  - 「100」フォルダ
  - 「□□□MSDCF」と「□□□ANV01」のどちらか一つしかない番号のフォルダ
- 記録した画像は、別のフォルダには移動できません。

記録フォルダ削除

メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを削除します。

1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [記録フォルダ削除]

2 ▲/▼で、削除したいフォルダを選択 → [OK]

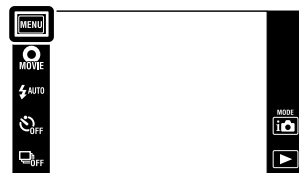
ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 記録フォルダとして設定しているフォルダを[記録フォルダ削除]で削除した場合、フォルダ番号が一番大きいフォルダが次の記録フォルダとして選ばれます。
- フォルダの中が空の場合のみ削除できます。画像や本機で再生できないファイルが入っている場合は、それらを削除してから行ってください。

コピー

内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーします。

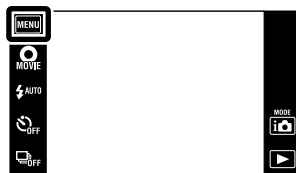
1 充分な空き容量のあるメモリーカードを本機に入れる

2 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [コピー] → [OK]

ご注意

- 充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後にメモリーカードを本体から取りはずし、[内蔵メモリーツール]の[フォーマット]を行ってください。
- データをコピーするとメモリーカード内に新しいフォルダが作成されます。コピー先のフォルダを指定することはできません。

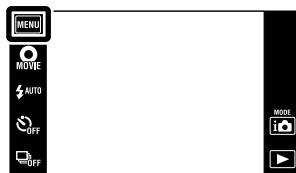
ファイル番号

撮影画像のファイル番号の付けかたを設定します。

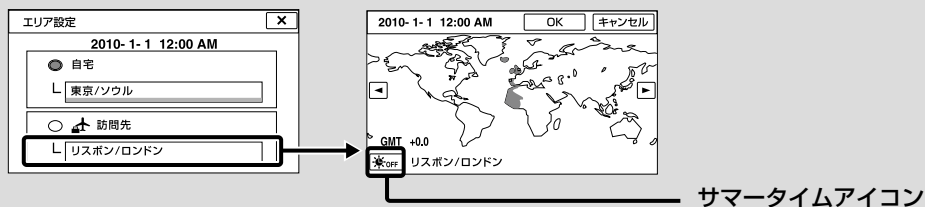
1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール)、または (内蔵メモリーツール) → [ファイル番号] → 好みのモード

✓	**連番**	記録フォルダを変更したり、メモリーカードを取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。（取り換えたメモリーカード内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。）
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。（記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号＋1のファイル番号を付ける。）

エリア設定

本機を使用する場所に適した時刻に合わせることができます。

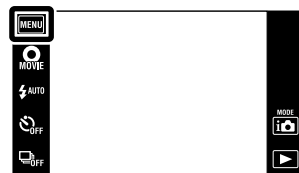
1 MENU → (設定) → (時計設定) → [エリア設定] → 好みのモード

✓	**自宅**	お住まいの地域で使用する。
	訪問先	訪問先の時刻に合わせて使用する。 訪問先のエリアを設定する。

エリアを変更するには

よく訪れる訪問先がある場合、設定しておくと訪問時に簡単に時刻合わせができます。

① 「訪問先」のエリア部分をタッチする。
② ◀/▶でエリアを選ぶ。
③ サマータイムアイコンをタッチして、サマータイムの入/切を選ぶ。
④ [OK]をタッチする。

日時設定

時刻を再設定します。

1 MENU → (設定) → (時計設定) →
[日時設定] → 好みのモード

表示形式	日付表示順を選ぶ。
サマータイム	サマータイムの入/切を選ぶ。 日本国内で使用するときは、[切]を選ぶ。
日時	日付、時刻を設定する。

ご注意

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM(付属)に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。

サマータイムとは

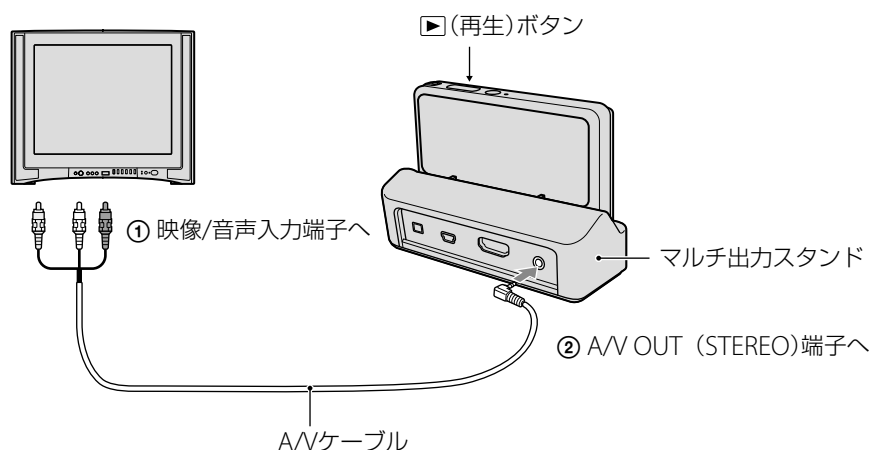
夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを[入]にすると、時計が1時間進みます。

標準画質(SD)のテレビで見る

本機とテレビを接続すると、撮影した画像を標準画質(SD)で見られます。
テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 本機をマルチ出力スタンド(付属)に取り付ける

3 マルチ出力スタンドとテレビをA/Vケーブル(付属)で接続する

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

5 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。本機の液晶画面の ▶I/I◀ をタッチして画像を選ぶ。

ご注意

- 1枚再生時、テレビ側にはアイコンが表示されません。
- テレビ出力中、[かんたんモード]では再生できません。
- 本機とテレビを接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

ハイビジョン画質（HD）のテレビで見る

本機とハイビジョンテレビをHDMIケーブル（別売）またはHD出力アダプターケーブル（別売）で接続すると、撮影した画像をハイビジョン画質（HD）で見られます。「Type2c」対応のHD出力アダプターケーブルをお使いください。
テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 **本機とテレビの電源を切る**

2 **本機とテレビをHDMIケーブル（別売）またはHD出力アダプターケーブル（別売）で接続する**

ご注意

- 1枚再生時、テレビ側にはアイコンが表示されません。
- テレビ出力中、［かんたんモード］では再生できません。
- ［画像サイズ］を［VGA］にして撮影した画像は高画質再生できません。
- 本機とテレビをHDMIケーブル（別売）、またはHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

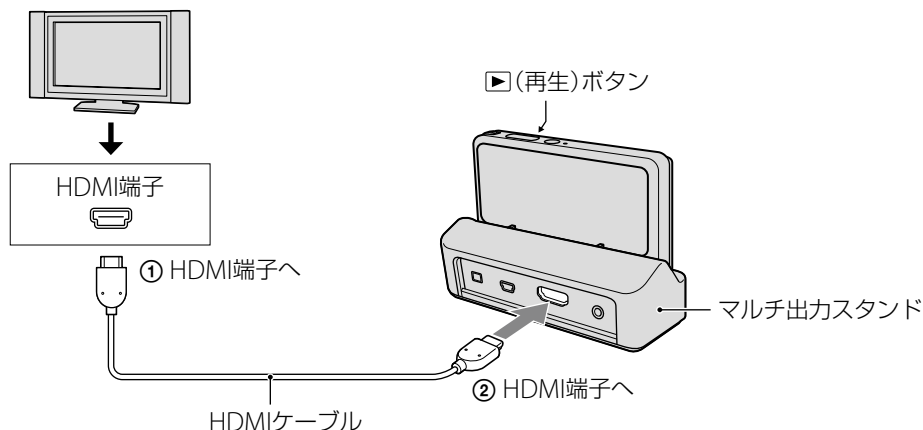
ブラビア プレミアムフォトについて

本機は"ブラビア プレミアムフォト"に対応しています。"ブラビア プレミアムフォト"に対応したソニー製テレビにHDMIケーブル（別売）、またはHD出力アダプターケーブル（別売）で接続すると、写真を今までになかった感動のFull HD高画質で快適にお楽しみいただけます。

- "ブラビア プレミアムフォト"とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。
- 本機をビデオ-Aモードに対応したソニー製テレビにHDMIケーブルで接続すると、動画再生時も含めて、テレビが静止画に適した画質に自動的に設定されます。テレビ側の設定をビデオにすると動画に適した画質になります。
- 詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。

HDMIケーブル(別売)で接続して見る

本機とHDMI端子のあるハイビジョンテレビをHDMIケーブル(別売)で接続します。

1 本機をマルチ出力スタンド(付属)に取り付ける

2 マルチ出力スタンドとテレビをHDMIケーブル(別売)で接続する

3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。本機の液晶画面の▶I/I◀をタッチして画像を選ぶ。

ご注意

- MENU → (設定) → (本体設定)で、[HDMI解像度]を[オート]または[1080i]にしてください。
- [操作音]は[シャッター]に固定されます。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。映像や音声が出力されません。また、故障の原因となります。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 本機とテレビをHDMIケーブル(別売)を使って接続した状態で動画を撮影すると、機器保護のためしばらくすると自動的に録画停止します。

ブラビアリンクを使う

ブラビアリンク（リンクメニュー対応）のテレビをご利用の場合、HDMIケーブル（別売）で接続すると、テレビに付属のリモコンで再生操作ができます。

1 本機をマルチ出力スタンド（付属）に取り付ける
2 マルチ出力スタンドとテレビをHDMIケーブル（別売）で接続する
3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする
4 ▶（再生）ボタンを押して、本機の電源を入れる
5 MENU → （設定） → （本体設定） → [HDMI機器制御] → [入]
6 テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押し、好みのモードを選ぶ

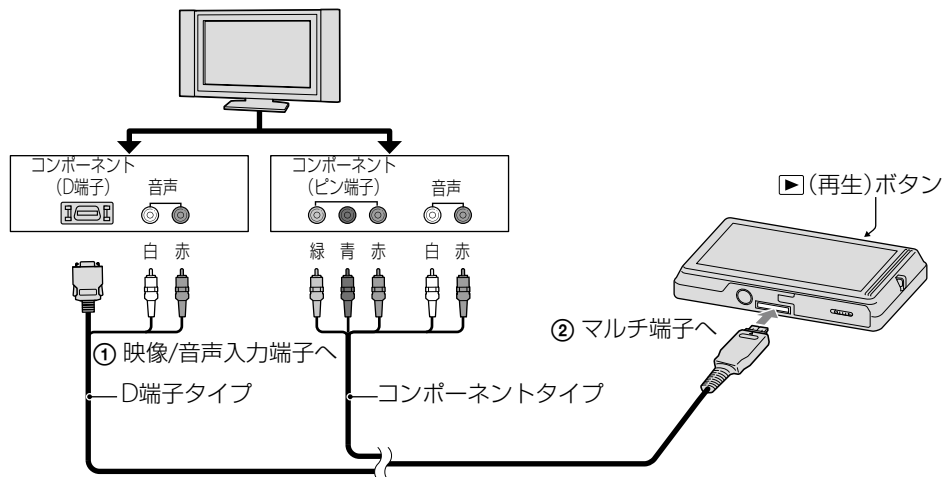
項目	説明
音楽付スライドショー	効果や音楽とともに、画像を自動的に連続再生する。
1枚再生	画像を1枚ずつ再生する。
一覧表示	同時に複数の画像を表示する。
ワイドズーム	1枚再生時、4:3の画角の静止画を16:9の画角で再生する。上下部分を少し切って表示する。
削除	画像を削除する。
再生ズーム	画像を拡大して再生する。
回転	静止画を左右に回転する。
ビューモード	画像を表示する方法を選び、一覧表示する。

ご注意

- HDMIケーブルで本機とテレビを接続する場合、操作できる項目が制限されます。
- リモコン操作中に本機の液晶画面をタッチすると、リモコン操作を中断します。
- 2008年以降に発売されたブラビアリンク対応テレビで使用できます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 他社のテレビをHDMI接続する際、テレビのリモコン操作でカメラが不要な動きをする場合は、MENU → （設定） → （本体設定）で、[HDMI機器制御]を[切]にしてください。

HD出力アダプターケーブル（別売）で接続して見る

本機とハイビジョンテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）で接続します。
「Type2c」対応のHD出力アダプターケーブルをお使いください。

1 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）で接続する

2 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

3 ▶（再生）ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。本機の液晶画面の▶I/I◀をタッチして画像を選ぶ。

ご注意

- あらかじめ、MENU → 🧰（設定） → 🔧（本体設定）で、［コンポーネント出力］を［HD(D3)］にしてください。
- お使いのハイビジョンテレビに合ったHD出力アダプターケーブルをお使いください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、
CD-ROM（付属）には「PMB」などが収録されています。

パソコンの推奨環境（Windows）

付属ソフトウェア「PMB」、「Music Transfer」、「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7
その他	**CPU：** Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上 （HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上） **メモリ：** 512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上） **インストール時に必要なハードディスク容量：** 約500 MB **ディスプレイ：** 1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

パソコンの推奨環境（Macintosh）

付属ソフトウェア「Music Transfer」、「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	**USB接続：** Mac OS X（v10.3 ～ v10.6） **Music Transfer/PMB Portable：** Mac OS X（v10.4 ～ v10.6）

ご注意

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（hi-speed転送）が行えます。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソフトウェアを使う

「PMB（Picture Motion Browser）」、「Music Transfer」をインストールする（Windows）

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→（SONYPMB）の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合は、「Install.exe.の実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールする。

2 [インストール]をクリックする

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合には◯を◉に変え、[次へ]をクリックする

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める

- インストールするには、途中でカメラとパソコンを接続する（135ページ）。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す

7 ソフトウェアを起動する

- 「PMB」を起動するときは、デスクトップ上の（PMB）をクリックする。
詳しい使いかたはPMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または（PMBヘルプ）をクリックして確認する。
- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → （PMB）より実行する。
- お使いのパソコンにすでに「PMB」がインストールされている場合、本機付属のCD-ROMから「PMB」をインストールすると、すべてのアプリケーションが「PMBランチャー」から起動できるようになります。「PMBランチャー」の起動にはデスクトップ上の（PMBランチャー）をダブルクリックします。

ご注意

- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- 「PMB」の初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。

「Music Transfer」をインストールする（Macintosh）

1 Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる

2 (SONYPMB)をダブルクリックする

3 [Mac]フォルダの中の[MusicTransfer.pkg]をダブルクリックする

インストールが始まる。

ご注意

- 「PMB」は、Macintoshには対応していません。
- インストールする前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

「PMB」のご紹介

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[取り込み開始]をクリックします。
- パソコンにある画像を、メモリーカードに書き出し、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[活用]メニューの[書き出し] → [かんたん書き出し（PCシンク）]をクリックし、[書き出し開始]をクリックします。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上で表示できます。
- 静止画の補正（赤目補正など）、撮影日時の変更ができます。
- 書き込み型CDドライブまたはDVDドライブでデータディスクを作成できます。
- パソコンに取り込んだAVCHD動画から、ブルーレイディスク、AVCHDディスクまたは、DVD-Videoディスクを作成できます。（ブルーレイディスク、DVD-Videoディスクの初回作成時、インターネット接続環境が必要です）
- 画像をネットワークサービスにアップロードできます。（インターネット接続環境が必要です）
- その他詳しくは、(PMBヘルプ)をご覧ください。

「Music Transfer」のご紹介

出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えたり、BGMファイルの削除や追加ができます。
また、出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すこともできます。

- 「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は、下記のとおりです。
  –パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
  –音楽CDの曲
  –工場出荷時に本機に保存されている曲
- 「Music Transfer」を起動する前に、MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンを接続してください。

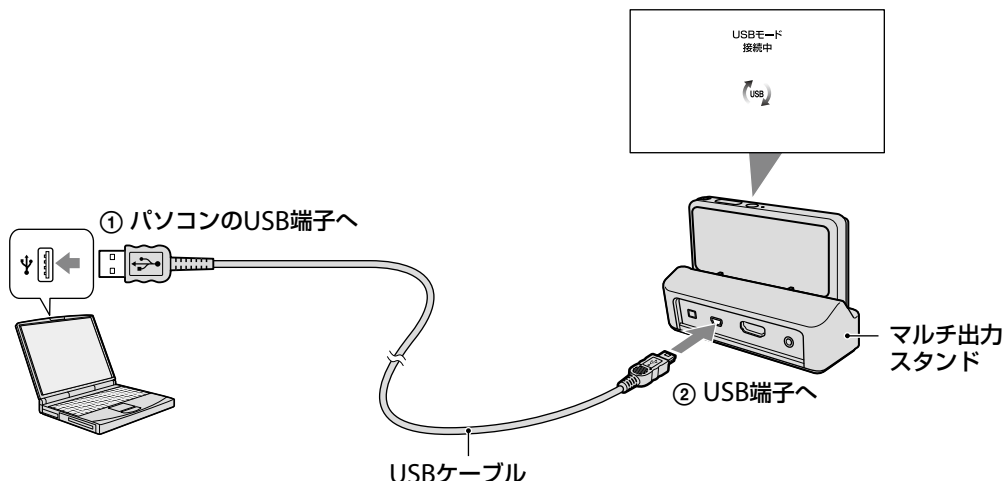
その他詳しくは、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

本機とパソコンを接続する

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる、またはマルチ出力スタンド（付属）にACアダプター AC-LS5A（別売）を接続し、コンセントに接続して、本機をマルチ出力スタンドに取り付ける

2 パソコンの電源を入れ、本機の▶（再生）ボタンを押す

3 本機とパソコンを接続する

- 初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

画像を取り込んで見る（Windows）

「PMB」を使うと、簡単に画像を取り込めます。
「PMB」の機能について詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

「PMB」を使わずに画像をパソコンに取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM]または[MP_ROOT]をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピーしてください。

ご注意

- AVCHD動画を取り込む等の操作は「PMB」を使用してください。
- 本機とパソコンを接続した状態で、パソコンから本機のAVCHD動画ファイルやフォルダを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。パソコンから本機のメモリーカード上のAVCHD動画の削除やコピーをしないでください。このような操作の結果に対し、当社は責任を負いかねます。

画像を取り込んで見る（Macintosh）

1 本機とパソコンを接続したら、デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン → 取り込みたい画像の入ったフォルダの順にダブルクリックする

2 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする

ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

3 ハードディスクアイコン → 画像ファイルの順にダブルクリックする

画像が表示される。

パソコンとの接続を切断する

以下の操作を行いたいときは、1 ～ 3の手順をあらかじめ行ってください。

- USBケーブルを抜く
- メモリーカードを取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、メモリーカードを本機に入れる
- 本機の電源を切る

1 タスクトレイの切断アイコンをダブルクリックする

2 (USB大容量記憶装置デバイス) → [停止] をクリックする

3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする

Windows Vista

Windows XP

切断アイコン

ご注意

- Macintosh使用時は、あらかじめメモリーカードまたはドライブのアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

画像をネットワークサービスにアップロードする

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB Portable」をご利用になると、次のことができます。

- 画像をブログなどのネットワークサービスへ簡単にアップロードできます。
- 外出先などでも、インターネット接続されたパソコンからアップロードできます。
- 頻繁に使用するネットワークサービス（ブログなど）を登録できます。

詳しい使いかたについては、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

PMB Portableを起動する（Windows）

初めてご利用になる場合には、言語設定が必要です。下記のとおり設定を行ってください。一度、言語設定を行うと、次回から手順3 ～ 5は不要になります。

1 本機とパソコンをUSB接続する

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザードが起動する。
必要のないドライブは［×］で終了してください。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、［コンピュータ］（Windows XPでは［マイコンピュータ］）→［PMBPORTABLE］をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

2 「PMB Portable」をクリックする（Windows XPでは、“PMB Portable”→［OK］）

- 自動再生ウィザード内に［PMB Portable］が表示されない場合は、［コンピュータ］→［PMBPORTABLE］をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

言語選択画面が表示される。

3 ［日本語］を選び、［OK］をクリックする

地域選択画面が表示される。

4 ［エリア］と［国/地域］を選び、［OK］をクリックする

使用許諾画面が表示される。

5 内容をよく読み、［同意する］をクリックする

「PMB Portable」が起動する。

PMB Portableを起動する（Macintosh）

1 **本機とパソコンをUSB接続する**

本機とパソコンの接続が終わると、デスクトップ上に［PMBPORTABLE］が表示される。必要のないドライブは［×］で終了してください。

2 **［PMBPORTABLE］フォルダの中の［PMBP_Mac］をクリックする**

地域選択画面が表示される。

3 **［エリア］と［国/地域］を選び、［OK］をクリックする**

使用許諾画面が表示される。

4 **内容をよく読み、［同意する］をクリックする**

「PMB Portable」が起動する。

ご注意

- AVCHD動画は「PMB Portable」に対応していません。
- 本体設定の［LUN設定］を［マルチ］に設定してください。
- 「PMB Portable」使用時は、必ずネットワーク接続してください。
- 当製品を含め、インターネット経由で画像をアップロードするとき、サービスプロバイダーによってはキャッシュが残る場合があります。利用しているパソコンにキャッシュが残る場合があります。
- 「PMB Portable」に不具合が起きたり、誤って削除してしまった場合、PMB Portableインストーラーを Webからダウンロードして修復することができます。

「PMB Portable」についてのご注意

「PMB Portable」はいくつかのウェブサイトのURLを、ソニーが管理するサーバー（以下、ソニーサーバー）からダウンロードすることができます。

「PMB Portable」を使用してこれらを含むウェブサイトが提供する画像アップロードサービス等（以下、サービス）をご利用いただくにあたり、以下をご承諾願います。

- ウェブサイトによっては、サービス利用に際してお客様による登録手続や利用料等の費用負担が必要となる場合があります。ウェブサイトが定める規約に従って、サービスをご利用ください。
- ウェブサイトの運営者の都合等により、サービスの中止や変更等があり得ますが、これらの場合を含め、サービスのご利用に関連してお客様と第三者との間に生じたトラブルや、お客様に発生した損害に関し、ソニーは一切責任を負いません。
- ウェブサイトへはソニーサーバーからリダイレクトされます。サーバーメンテナンスなどの事情により、ウェブサイトへアクセスできない場合があります。
- ソニーサーバーの運用を終了する場合は、ソニーのウェブサイトなどで事前にご案内いたします。
- ソニーサーバーからリダイレクトされる先のURL等を記録し、今後のソニー製品及びサービスの向上に役立たせていただく場合があります。ただし、個人情報は記録いたしません。

動画のディスクを作成する

本機で記録したAVCHD動画からディスクを作成することができます。

ディスクの作り方を選ぶ

お使いの再生機器に合わせて、作り方を選択してください。
PMBを使ったディスクの作り方についての詳細は「PMBヘルプ」をご覧ください。
動画をパソコンに取り込むには135ページをご覧ください。

再生機器	作り方	ディスクの種類
ブルーレイディスク再生機器 （ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	PMBを使ってパソコンに画像を取り込み、ブルーレイディスクを作る。	Blu-ray
AVCHD規格対応再生機器 （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など）	PMBを使ってパソコンに画像を取り込み、AVCHDディスクを作る。	AVCHD
	DVDirect Express 以外の DVDライター /レコーダを使って AVCHDディスクを作る。	
一般的なDVD再生機器 （DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）	PMBを使ってパソコンに画像を取り込み、標準画質（STD）のディスクを作る。	STD

ご注意

- ソニー製DVDirect（DVDライター）をお使いの場合、データの転送にはメモリーカードスロットとUSB接続が使えます。
- ソニー製DVDirect（DVDライター）を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。
  詳しくは下記のURLをご覧ください。
  http://www.sony.jp/dvdirect/

ディスクの説明

ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質（HD）の動画をDVD ディスクに比べ長時間記録できます。

ハイビジョン画質（HD）の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

- ハイビジョン画質のディスクは、ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など、AVCHD規格対応再生機器で再生できます。一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。

ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（STD）に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

次のページにつづく↓

「PMB」で使えるディスクの種類について

「PMB」では以下の12cmのディスクを使えます。ブルーレイディスクについては、141ページをご覧ください。

ディスクの種類	特徴
DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできません。
DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できます。

- 「プレイステーション3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

AVCHDディスクを作る

付属のソフトウェア「PMB」を使って、パソコンに取り込んだAVCHD動画からハイビジョン画質（HD）のAVCHDディスクを作成できます。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる
2 「PMB」を起動する
3 ディスクに書き込むAVCHD動画を選ぶ
4 ディスク作成▼ をクリックして[AVCHD（HD）作成]を選ぶ
5 画面の指示に従ってディスクを作成する

ご注意

- あらかじめ「PMB」をインストールしてください（133ページ）。
- 静止画、MP4動画はAVCHDディスクに記録できません。
- ディスク作成には時間がかかることがあります。

AVCHDディスクをパソコンで再生するには

「PMB」と同時にインストールされる「Player for AVCHD」を使って再生できます。起動するには、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PMB] → [PMBランチャー] → [見る] → [Player for AVCHD]の順にクリックします。操作方法は「Player for AVCHD」のヘルプをご覧ください。

- パソコンの環境によっては、動画がなめらかに再生できないことがあります。

次のページにつづく↓

ブルーレイディスクを作るには

パソコンに取り込んだAVCHD動画から、ブルーレイディスクを作成できます。
お使いのパソコンがブルーレイディスク作成に対応している必要があります。
ディスクは、BD-R（書き換え不可）、BD-RE（書き換え可）が使えます。追加記録はできません。
ブルーレイディスクを作成するには「PMB」のインストール画面で[BDアドオンソフトウェア]をインストールしてください。
インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。

詳しい操作方法については「PMBヘルプ」をご覧ください。

標準（STD）画質のディスクを作る

付属のソフトウェア「PMB」を使って、パソコンに取り込んだAVCHD動画を選び、標準（STD）画質のDVDディスクを作成できます。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる

- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了する。

2「PMB」を起動する

3 ディスクに書き込む動画を選ぶ

4 ディスク作成▼ をクリックして[DVD-Video (STD) 作成]を選ぶ

5 画面の指示に従ってディスクを作成する

ご注意

- あらかじめ「PMB」をインストールしてください（133ページ）。
- MP4動画はディスク作成できません。
- AVCHD動画を標準画質（STD）に変換するため、ディスク作成に時間がかかります。
- DVD-Videoディスク初回作成時、インターネット接続環境が必要です。

静止画をプリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（PictBridge対応プリンター使用）
- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  CD-ROM収録のソフトウェア「PMB」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。
- お店でプリント（144ページ）

ご注意

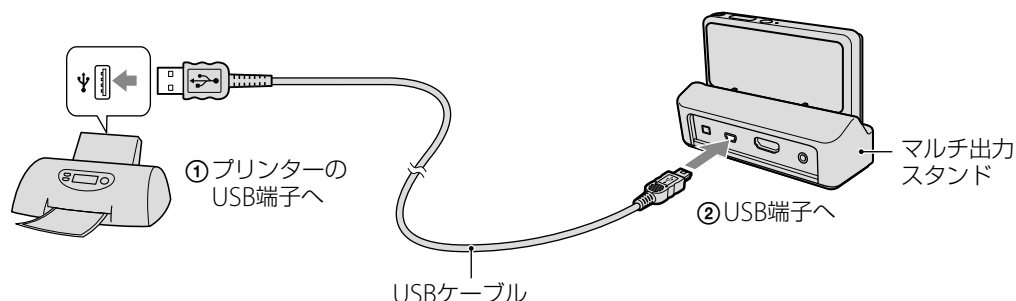
- [16:9]で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合があります。
- お使いのプリンターによっては、パノラマ画像は印刷できません。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる

2 本機とプリンターを接続する。

3 本機とプリンターの電源を入れる

接続が完了すると、画面に〃マークが表示される。

〃マークが点滅したときは、プリンターからのエラー通知です。接続しているプリンターを確認してください。

4 MENU → (印刷) → 好みのモード

この画像	1枚再生時に見ている画像を印刷する。
画像選択	画像を何枚か選んで印刷する。 手順4の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プリントしたい画像をタッチする。 印刷したい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度タッチすると、プリントの選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
日付内全て **フォルダ内全て**	選択している日付、フォルダ内すべての画像を印刷する。 手順4の後に[OK]をタッチする。

5 好みの設定項目 → [実行]

枚数	指定した画像のプリント枚数を選ぶ。 • インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらない場合があります。
レイアウト	1枚のプリント用紙に何枚の画像を並べるかを選ぶ。
サイズ	用紙サイズを選ぶ。
日付	日時を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。 • [年月日]を選ぶと、本機の日時設定で選んだ年月日の表示順で挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

ご注意

- 動画はプリントできません。
- プリンターに接続できなかった場合は、[本体設定]の[USB接続]を[PictBridge]にしてください。
- (PictBridge接続中)マークが画面に表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。

お店でプリントする

画像を撮影したメモリーカードをプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、再生メニューでDPOF(プリント予約)マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーして(123ページ)、プリントサービス店にお持ちください。
- 対応しているメモリーカードの種類はお店にお問い合わせください。
- メモリーカード用のアダプター(別売)が必要な場合があります。お店にお問い合わせください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。
- 日付を写真に挿入したいときは、お店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **146 ～ 153ページの項目をチェックし、本機を点検する。**
画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、154ページをご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **設定リセットをする（107ページ）。**

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトなどで確認する。**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot
サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

“メモリースティック”対応表
使用可能な“メモリースティック”を確認できます。
また、その他の“メモリースティック”に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

❺ **ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。**

- 内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/di-repair/

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください。
- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- バッテリーの寿命です(162ページ)。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売)を使っての充電はできません。バッテリーチャージャーを使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
- 充電に適した温度範囲(10℃ ～ 30℃)で充電してください。
- 詳しくは、162ページをご覧ください。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください。いっぱいのときは、以下のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(80ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- (静止画) / (動画)モードボタンを切り換えてください。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティック PRO デュオ" (Mark2)、"メモリースティック PRO-HG デュオ"
  – SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード (Class 4以上)
- [デモモード]を[切]にしてください(106ページ)。

スマイルシャッター撮影ができない。

- 笑顔が検出されない場合は撮影されません。
- [デモモード]を[切]にしてください(106ページ)。

手ブレ補正が効かない。

- 暗所では、手ブレ補正が効きにくくなります。
- シャッターを半押ししてから撮影してください。

撮影に時間がかかる。

- 暗い場所での撮影時など、シャッタースピードが一定速度よりも遅くなると、自動的に画像ノイズを低減します。この機能をNR(ノイズリダクション)スローシャッターといい、撮影に時間がかかります。
- 目つぶり軽減機能が働いています。[目つぶり軽減]の[オート]を[切]にしてください(72ページ)。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。最短撮影距離(おまかせオート撮影時、かんたんモード中はレンズ先端からW側約1 cm、T側約50 cm。それ以外の撮影モード時はレンズ先端からW側約8 cm、T側約50 cm)より離して撮影してください。または拡大鏡モードにし、W側約1 cm ～ 20 cmの距離で撮影してください。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの(風景)、(夜景)、(打ち上げ花火)が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。

ズームできない。

- スイングパノラマ撮影時はズームできません。
- 画像サイズによってはスマートズームができません(99ページ)。
- 以下の場合は、デジタルズームは使えません。
  – 動画撮影時
  – 逆光補正HDR撮影時
  – スマイルシャッター中

顔検出機能が選べない。

- [フォーカス]を[マルチAF]、[測光モード]を[マルチ]の両方の設定がされているときのみ、[顔検出]を選べます。
- 拡大鏡モード時、[顔検出]は選べません。

フラッシュ撮影ができない。

- 以下の場合は、フラッシュ撮影できません。
  – 連写時(57ページ)
  – シーンセレクションの(高感度)、(夜景)、(打ち上げ花火)が選ばれているとき
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時
- 拡大鏡モード時、またはシーンセレクションの(風景)、(料理)、(ペット)、(ビーチ)、(スノー)、(水中)、(高速シャッター)が選ばれているときは、[強制発光]にしてください(48ページ)。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした白く丸い点が写っている。

- 空気中の粒子（ほこり、花粉など）がフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接撮影（マクロ撮影/拡大鏡撮影）ができない。

- シーンセレクションの（風景）、（夜景）、（打ち上げ花火）が選ばれているときは、近接撮影できません。
- 拡大鏡モードが選ばれている場合の撮影範囲は、約1 cm ～ 20 cmです。
- 以下の場合は、[マクロ]は[オート]に固定されます。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – 人物ブレ軽減撮影時
  – 手持ち夜景撮影時
  – スマイルシャッター中
  – かんたんモード中
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき

マクロ撮影が解除できない

- マクロ解除の機能はありません。[オート]の場合は、そのまま遠景の撮影が可能です。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません。「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷することができます（133ページ）。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。[明るさ（EV補正）]を設定してください（59ページ）。

画像の色が正しくない。

- [色合い（ホワイトバランス）]を調整してください（62ページ）。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- [赤目軽減]を[オート]または[入]にしてください（102ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影してください。
- 室内を明るくして撮影してください。
- 再生メニューの[加工] → [赤目補正]を行う、または「PMB」で修正してください。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

連写できない。

- スマイルシャッター中は連写できません。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの容量がいっぱいです。不要な画像を削除してください（80ページ）。
- バッテリーの残量が足りません。充電されたバッテリーを取り付けてください。

同じ画像が数枚撮影される。

- [連写]を[切]にしてください（57ページ）。
- [おまかせシーン認識]が[アドバンス]になっています（68ページ）。

画像を見る

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください（136ページ）。
- パソコン内の画像を本機で再生するには、「PMB」をご使用ください。

撮影日時が表示されない。

- [表示設定]が[切]になっています。

画面の左右が黒く表示される。

- [縦横判別]が[入]になっています（100ページ）。

ボタンやアイコンが消えてしまった。

- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。
- 撮影メニューまたは、再生メニューの[表示設定]が[切]になっています。画面の左側をタッチして右になぞってください。

スライドショー時に音楽（BGM）が流れない。

- 「Music Transfer」を使って本機に音楽を入れてください（133、134ページ）。
- [音量設定]と[スライドショー]の設定を確認してください（78、91ページ）。
- [連続再生]で再生している。[音楽付スライドショー]を選んで再生してください。

テレビに画像が出ない。

- 本機と同じカラーテレビ方式のテレビが必要です（159ページ）。
- 接続が正しいか確認してください（127、128ページ）。
- USBケーブルがUSB端子に接続されている場合は、はずしてください（136ページ）。
- 本機とテレビを接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

画像を削除する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除してください(88ページ)。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"スロット付きパソコンで"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが"メモリースティック PRO デュオ"に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、バイオのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- "メモリースティック PRO デュオ"非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください(135ページ)。パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付けてください。またはACアダプター(別売)を使用してください。
- [USB接続]を[オート]または[Mass Storage]にしてください(112ページ)。
- 接続には、USBケーブルを使ってください。
- 一度パソコンと本機からUSBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

画像を取り込めない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください(135ページ)。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードで撮影した場合、画像をパソコンへ取り込めないことがあります。本機でフォーマットしたメモリーカードで撮影してください(119ページ)。

USB接続をしたときに「PMB」が自動起動しない。

- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続してください。

USB接続をしたときに「PMB Portable」が起動しない。

- [LUN設定]を[マルチ]にしてください。
- [USB接続]を[オート]または[Mass Storage]にしてください。
- パソコンをネットワーク接続してください。

画像を再生できない。

- 「PMB」をお使いの場合は、「PMBヘルプ」をご覧ください（133ページ）。
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたはメモリーカードから直接再生すると、画像や音が途切れます。「PMB」で画像を取り込んでファイルを再生してください（133ページ）。

パソコンから書き出した画像ファイルが本機で見られない。

- パソコン内の画像を本機で再生するには、「PMB」をご使用ください。
- 管理ファイルに登録して、[日付ビュー]で再生してください（86ページ）。
- 本機はイベントビューに対応していません。

メモリーカード

本機に入らない。

- 正しい向きで入れてください。

誤ってフォーマットしてしまった。

- メモリーカード内のデータはすべて消去され、元に戻せません。

メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまう。

- メモリーカードがきちんと奥まで挿入されているか確認してください。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが再生/記録できない。

- 本機にメモリーカードが入っています。取りはずしてください。

内蔵メモリー内のデータをメモリーカードにコピーできない。

- メモリーカードの空き容量がありません。充分な空き容量のあるメモリーカードにコピーしてください。

メモリーカードやパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- メモリーカードやパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「PMB」を使って印刷すると日付挿入ができます（133ページ）。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認してください。
- [USB接続]を[PictBridge]にしてください（112ページ）。
- USBケーブルを抜いて、接続し直してください。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがUSBケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- プリンターの電源が入っているか確認してください。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に[終了]を選ぶと、再びプリントできない場合があります。USBケーブルを抜いて、接続し直してください。それでも復帰しないときは、USBケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続し直してください。
- 動画はプリントできません。
- 他機で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。
- プリンターによっては、パノラマ画像をプリントできない場合や、パノラマ画像が切れてプリントされる場合があります。

プリントが中断される。

- （PictBridge接続中）マークが消える前に、USBケーブルを抜いていないか確認してください。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応していません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていません。[日付]を[切]にしてプリントしてください(142ページ)。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、一度USBケーブルを抜いてプリンターを接続し直してください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていません。本機の用紙サイズ設定を変更する(142ページ)か、プリンターの用紙設定を変更してください。
- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

印刷を中止すると、他の操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

タッチパネル

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節([キャリブレーション])してください(118ページ)。
- [ハウジング]が[入]になっています(111ページ)。

ペイントペンの先をあてた位置がずれて表示される。

- 画面を調節([キャリブレーション])してください(118ページ)。

その他

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を切って約1時間そのままにしてから使用してください。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 日付/時刻を設定し直してください(126ページ)。
- 充電式バックアップ電池が放電しています。充電したバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

日付/時刻がずれている。

- エリア設定で現在地と異なった場所が設定されています。MENU → (設定) → (時計設定) → [エリア設定]で設定し直してください。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでソニーの相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すかメモリーカードを数回抜き差ししてください。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままです。または、フォーマットしていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください(119ページ)。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています。またはデータが壊れています。メモリーカードを交換してください。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセット(107ページ)してから、電源を入れてください。

E:94:□□

- データの書き込み、消去動作不良です。修理が必要です。ソニーの相談窓口にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

(バッテリーアイコン)

- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにバッテリーを充電してください。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- NP-BN1(付属)以外のバッテリーを使っています。

システムエラー

- 電源を入れ直してください。

しばらく使用できません
カメラの温度が下がるまでお待ちください

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、動画撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直してください。

メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています(3ページ)。
- メモリーカード端子が汚れています。
- メモリーカードが壊れています。

非対応のメモリーカードです

- 本機では使えないメモリーカードが入っています(3ページ)。

このメモリーカードは記録/再生できない可能性があります

- 本機では使えないメモリーカードが入っています(3ページ)。

内蔵メモリーフォーマットエラー
メモリーカードフォーマットエラー

- フォーマットし直してください(119ページ)。

メモリーカードがロックされています

- 誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。

読み出し専用のメモリーカードです

- このメモリーカードへの画像記録や消去はできません。

メモリーカードへの書き込みが正常に終了しませんでした
データを修復します

- メモリーカードを入れ直し、画面の指示に従ってください。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていません。
- メモリーカード内に再生可能な画像が記録されていません。

対象画像がありません

- スライドショー時に、スライドショーできるファイルが存在しないフォルダまたは日付を選択しています。

本機で認識できないファイルがあります

- 本機で再生できないファイルがあるフォルダを削除しようとしています。パソコンで削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダエラー

- 上3桁の番号が同じフォルダがメモリーカード内にあります（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選ぶか、フォルダを作成してください（120、121ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

フォルダ内を空にしてください

- ファイルがあるフォルダを削除しようとしています。ファイルをすべて削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダがプロテクトされています

- パソコンなどで読み取り専用にしたフォルダを削除しようとしています。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生しました。
  パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証しません。

読み出し専用フォルダです

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択しました。他のフォルダを選択してください（121ページ）。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除してください（88ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしています。

対象を検出できませんでした

- 画像によっては加工できない場合があります。

（手ブレ警告表示）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用してください。または、三脚などで本機をしっかりと固定してください。

MP4 12Mに、このメモリーカードは対応していません
MP4 6Mに、このメモリーカードは対応していません

- 動画撮影時は、1 GB以上のメモリーカードの使用をおすすめします。

この動画記録方式では撮影できません

- [動画記録方式]を[MP4]にしてください(96ページ)。

制限枚数を超えています

- [画像選択]で選べるファイルは100枚までです。
- DPOF、プロテクト、印刷時、[日付内全て]/[フォルダ内全て]で選べるファイルは999枚までです。
- **DPOF**(プリント予約)マークが付けられるファイルは999枚までです。選択を解除してください。

- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性があります。
  USBケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っています。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

BGMエラー

- 選択したBGMデータを削除するか、正常なデータと入れ換えてください。
- BGMフォーマットをしてから、正常なデータをダウンロードしてください。

BGMフォーマットエラー

- BGMフォーマットをし直してください。

非対応ファイルでは この操作を実行できません

- パソコンで画像を加工したファイルや、他機で撮影した画像は、加工などの編集機能は使えません。

管理ファイル準備中

- パソコンで画像を削除した場合などに日付情報などを修復します。
- メモリーカードのフォーマット後に必要な管理ファイルを作成します。

FULL

- 本機で日付を管理できる枚数を超えています。新しく管理ファイルに画像を登録するには、[日付ビュー]で画像を削除してください。

管理ファイルに不整合が見つかりました修復します

- 管理ファイルが破損しているため、AVCHD動画の撮影、再生ができません。画面の指示に従い修復してください。

Error

- 本機の管理ファイルへの記録や、[日付ビュー]での再生ができません。「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカード、または内蔵メモリーを修復してください。

管理ファイルエラー修復できません

- 「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカード または内蔵メモリーをフォーマットしてください（119ページ）。
  「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込めなかった場合は、「PMB」を使わずにすべての画像をパソコンに取り込んでください（135ページ）。
  再び本機で画像を見るには、取り込んだ画像を「PMB」で本機に書き出してください。

カメラの温度が高いため しばらく録画できません

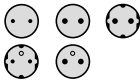
- カメラの温度が高くなっている。下がるまで撮影できません。

カメラの温度が上がったため 録画を停止しました

- 動画記録中に温度が上昇したため、録画を停止します。温度が下がるまでお待ちください。

[!]

- 長時間動画を撮影し、カメラの温度が上がっています。動画撮影を終了してください。

接続に失敗しました

- TransferJet受信部を確認して正しく送信してください（17ページ）。

送信できないファイルがありました 受信できないファイルがありました

- 画像送信中に通信が切断されたか、または機器のメモリー容量がいっぱいになると送信を中断します。空き容量を確認して再度TransferJet送信してください。

海外で使うときは

バッテリーチャージャー（付属）やACアダプター AC-LS5A（別売）は全世界（AC100V ～ 240V・50/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

ご注意

- 電子変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

カラーテレビ出力方式

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じカラーテレビ方式（NTSC）が必要です。

NTSC方式（1080 60i）
アメリカ合衆国、エクアドル、カナダ、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、大韓民国、台湾、チリ、中央アメリカ、日本、バハマ、フィリピン、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、メキシコ、など

PAL方式（1080 50i）
イタリア、インドネシア、英国、オーストラリア、オーストリア、オランダ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、タイ、中華人民共和国、チェコ、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、ルーマニア、など

PAL-M方式（1080 50i）
ブラジル

PAL-N方式（1080 50i）
アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ

SECAM方式（1080 50i）
イラク、イラン、ウクライナ、ギリシャ、フランス、フランス領ギアナ、ブルガリア、モナコ、ロシア、など

“メモリースティック デュオ”について

“メモリースティック デュオ”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック デュオ”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）	○*1
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○*2
マジックゲートメモリースティック デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO デュオ	○*2*3
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*2*3*4

*1 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応していません。
*2 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。
*3 [AVC HD 17M FH]、[AVC HD 9M HQ]、[MP4 12M]、[MP4 6M]の動画は、“メモリースティック PRO デュオ”以外のメモリースティック及び、内蔵メモリーには記録できません。
*4 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同様の4ビットパラレルデータ転送を行います。

ご注意

- 本製品は“メモリースティック マイクロ”（“M2”）に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- “メモリースティック デュオ”本体および“メモリースティック デュオ”アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

次のページにつづく↓

• 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック デュオ” アダプター（別売）使用上のご注意

• “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
• “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
• “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
• “メモリースティック デュオ” アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック マイクロ”（別売）使用上のご注意

• “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
• “メモリースティック マイクロ”は小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“メモリースティック”対応表」をご確認ください。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

バッテリーについて

バッテリーの充電について

- 周囲の温度が10℃ ～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（77ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

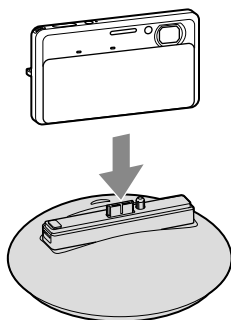
対応バッテリーについて

- NP-BN1（付属）は、Nタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。

バッテリーチャージャーについて

- バッテリーチャージャー（付属）で、NP-BNタイプ以外のバッテリーを充電しないでください。指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 付属のバッテリーチャージャーのCHARGEランプには以下の2つの点滅パターンがあります。
  速い点滅・・・・・・約0.15秒の点灯と消灯を繰り返す
  遅い点滅・・・・・・約1.5秒の点灯と消灯を繰り返す
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は充電中のバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再びCHARGEランプが点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど、別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は、バッテリーの異常が考えられます。
- CHARGEランプが遅い点滅をしている場合は充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲外にある場合は自動的に充電を一時止め、待機状態になります。充電に適切な温度範囲に戻れば充電を再開し、CHARGEランプは点灯になります。バッテリーの充電は周囲温度が10℃ ～ 30℃の環境で行うことをおすすめします。

インテリジェントパンチルターについて

インテリジェントパンチルター（別売）を使うと、人の顔を検出し自動撮影を行います。
詳しくは、インテリジェントパンチルターに付属の取扱説明書をご覧ください。

AVCHD規格について

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、1080i方式*[1]や720p方式*[2]のHD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラ用に開発された規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。
MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。この方式により、8cmDVDディスク、ハードディスクドライブ、フラッシュメモリ、メモリーカードなどにデジタルビデオカメラの高画質なハイビジョン映像信号を記録することができます。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、以下の仕様でHD（ハイビジョン）記録ができます。
映像*[3]：**1080 60i対応機**
MPEG-4 AVC/H.264 1920×1080/60i、1440×1080/60i
1080 50i対応機
MPEG-4 AVC/H.264 1920×1080/50i、1440×1080/50i
音声：ドルビーデジタル2ch
記録メディア：メモリーカード

*[1] 1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格
*[2] 720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格
*[3] 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

TransferJet規格について

TransferJet通信は以下の規格を使用しています。

TransferJet規格：

PCL Spec. Rev1.0準拠

Protocol Class Name（通信種類）：

SCSI Block Device Target
OBEX Push Server
OBEX Push Client

- 別売のTransferJet通信機器と接続する際、上記の"SCSI"という通信種類を使用します。同様に、カメラ同士で接続する場合には、"OBEX"という通信種類を使用します。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「dtoa」、「pcre」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「dtoa」、「pcre」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

本製品は、 MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
(i)消費者が個人的、非営利の使用目的で、 MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、 AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
(ii)AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、 MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、 GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、 Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。
PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。
http://www.adobe.com/

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」のライセンスに関するお知らせ

MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.